

事業報告書

目 次

【推進項目1】調査研究・提言活動	1
【推進項目2】自立に向けた援助活動	
(1) 生活福祉資金貸付事業	2
(2) 母子家庭等就業・自立支援センター事業	5
(3) 地域生活定着支援センター事業	7
(4) 生活復興ボランティアセンター	9
(5) 生活困窮者自立促進支援モデル事業	12
【推進項目3】福祉サービスの利用者支援	
(1) あんしんサポート事業（日常生活自立支援事業）	16
(2) 福祉サービス第三者評価事業	20
(3) 福島県運営適正化委員会事業	22
【推進項目4】広報啓発、情報提供活動	24
【推進項目5】ボランティア・住民参加活動	
(1) ボランティア・市民活動の振興	25
(2) 長寿社会推進事業	28
(3) 県民介護講座	30
【推進項目6】福祉人材の養成・確保	33
【推進項目7】社会福祉従事者の資質向上	41
【推進項目8】社会福祉従事者の福利厚生への推進	44
【推進項目9】市町村社会福祉協議会との協働・支援	47
【推進項目10】社会福祉施設等との協働・支援	49
【推進項目11】民生委員・児童委員との協働・支援	56
組織基盤・財政基盤・事務局体制	57

基本目標 1 > 変化する福祉ニーズの的確な把握と対応

【推進項目 1】調査研究・提言活動

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事業報告

①調査研究活動の充実

ア) 協働した調査研究活動の実施

「地域見守りネットワークづくり研究事業」の実施

生活困窮者自立促進支援モデル事業における課題の洗い出し

②提言活動の充実

ア) 調査結果に基づいた提言活動の実施

「生活支援相談員が受け止めた避難生活とこれから」と題し、本会発行情報誌「はあとふるふくしま」(4月号)の特集として「生活支援相談員から見る避難住民の現状調査(第三回)」の調査結果を掲載した他、関連会議等で調査結果説明等を行った。

イ) 社会福祉施策促進委員会の活動の検討

総合企画委員会を中心とした制度要望・政策提言及び予算要望の取りまとめ

1. 県議会各会派への制度要望及び政策提言活動の実施

期日：8月27日

会派：福島県議会「福島・みどりの風」、福島県議会民主・県民連合議員会、
日本共産党福島県議会議員団、自由民主党福島県議会議員会、
公明党福島県議会議員団、ふくしま未来ネットワーク議員団

2. 総合企画委員会の開催

期日：9月8日

内容：委員長・副委員長の互選について

政党要望聴取会における制度要望及び政策提言について(報告)

県に対する制度要望及び政策提言案の立案について

3. 県への予算要望書提出

【第1回】 期日：9月10日(各課長、事務局長、常勤副会長対応)

提出先：県保健福祉部長

【第2回】 期日：11月5日(瀬谷会長対応)

提出先：県保健福祉部長、県総務部長

4. 社会福祉法人への法人税課税等に対する反対一斉陳情の実施

期 日：10月29日

会 場：衆議院第一議員会館、衆議院第二議員会館、参議院議員会館

提出先：県内選出の国会議員16名

出席者：瀬谷会長、古川常勤副会長、強口副会長

ウ) 種別部会・協議会との連携・協働による提言活動の検討

本会各種別部会・協議会との協働による要望活動の実施

上記1の活動において、関係する部会・協議会の委員と共に要望書の提出を実施。

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】 自立に向けた援助活動

(1) 生活福祉資金貸付事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容			
事業報告			
①適切な貸付の実施			
ア) 貸付相談への的確な対応			
生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金の貸付実施			
1. 資金の貸付の実施			
(1) 総合支援資金 ※金額には、増額決定分を含む			
①生活支援費	決定	25 件	15,713,000 円
②住宅入居費	決定	1 件	95,000 円
③一時生活再建費	決定	2 件	99,000 円
〔合計〕	決定	28 件	15,907,000 円
(2) 福祉資金			
①福祉費	決定	28 件	11,552,000 円
②緊急小口資金	決定	290 件	21,540,000 円
〔合計〕	決定	318 件	33,092,000 円
(3) 教育支援資金	決定	80 件	66,816,000 円
(4) 臨時特例つなぎ資金	決定	15 件	785,000 円
生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催			
【第 1 回】			
期日：6 月 24 日			
内容：平成 25 年度生活福祉資金貸付状況			
緊急小口資金（特例貸付）償還状況			
不動産担保型生活資金における不動産再評価			
【第 2 回】			
期日：8 月 26 日			
内容：委員長・副委員長の互選			
不動産再評価結果（不動産担保型生活資金）に伴う貸付内容の変更			
緊急小口資金（特例貸付）償還状況			
【第 3 回】			
期日：10 月 28 日			
内容：教育支援資金の償還猶予			
緊急小口資金（特例貸付）償還状況			
②債権管理の充実			
ア) 滞納世帯の生活状況把握			
滞納債権の管理			
1. 債権管理の強化			
(1) 滞納債権償還督促通知の送付			
期日：5 月 19 日			
①生活福祉資金		1,080 件	

- ②離職者支援資金 60 件
- ③総合支援資金 674 件
- ④臨時特例つなぎ資金 64 件

期日：11 月 17 日

- ①生活福祉資金 1,101 件
- ②離職者支援資金 53 件
- ③総合支援資金 704 件
- ④臨時特例つなぎ資金 62 件

(2) 滞納世帯に対する償還指導（債権件数）

- ①電話による対応 771 件
- ②借受世帯訪問 2,326 件
- ③償還滞納世帯面接会 84 件
- (3) 償還猶予の実施 8 件
- (4) 延滞利子免除の実施 3 件（うち、緊急小口資金（特例貸付）1 件）
- (5) 償還免除の実施 122 件（うち、緊急小口資金（特例貸付）81 件）

緊急小口資金（特例貸付）の債権管理

- 1. 償還等に関する電話相談 2,720 件
- 2. 宛先不在世帯の住所等調査 735 件
- 3. 最終償還期限到来通知の宛先不在等による返送通知の再発送 541 件
- 4. 滞納債権償還督促通知（第 1 回）の送付
期日：10 月 31 日 送付数：14,440 件
宛先不在等による返送 1,603 件
住所等再調査による再発送 136 件
- 5. 滞納債権償還督促通知（第 2 回）の送付
期日：3 月 2 日 送付数：13,900 件
宛先不在等による返送 1,043 件
住所等再調査による再発送 2 件
- 4. 延滞利子免除の実施 1 件（再掲）
- 5. 償還免除の実施 81 件（再掲）

③実施体制の整備

ア) 相談機能の充実

市町村社協担当職員研修会の開催

- 1. 生活福祉資金新任担当職員事務取扱説明会
期日：4 月 25 日 参加者：26 名（県総合社会福祉センター）
- 2. 生活福祉資金担当職員研修会
期日：2 月 25 日 参加者：58 名（県総合社会福祉センター）

会議・研修会等への参加

- 1. 都道府県・指定都市社協生活福祉資金担当部課長会議（4 月 24～25 日 東京都）
- 2. 全国生活福祉資金貸付事業担当者研修会（7 月 22～23 日 東京都）
- 3. 北海道・東北ブロック生活福祉資金貸付事業運営協議会（9 月 25 日～26 日 北海道）
- 4. 都道府県指定都市社会福祉協議会 地域福祉担当臨時部・課長会議（2 月 9 日 東京都）

関係機関との連携

1. 関係機関・団体等への生活福祉資金貸付制度説明

- (1) 郡山市民生児童委員協議会会長会（6月2日 郡山市）
- (2) 三春町民生児童委員協議会6月全員協議会（6月19日 三春町）
- (3) 福島市第三方部民生児童委員協議会6月定例会（6月26日 福島市）
- (4) 西郷村民生児童委員協議会定例会（9月17日 西郷村）

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】 自立に向けた援助活動

(2) 母子家庭等就業・自立支援センター事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①無料職業紹介事業の充実	
ア) 就業相談体制の充実	
職業相談会の実施	
1. 就職相談会の開催 (5 方部) 相談人数計 42 名 (21 回) (1) 福島会場 (福島県総合社会福祉センター) 期日：4 月 17 日、5 月 16 日、6 月 16 日、8 月 21 日、9 月 25 日、 10 月 16 日、11 月 14 日、1 月 22 日、2 月 19 日、3 月 13 日 相談人数計 22 名 (10 回) (2) 須賀川会場 (県中保健福祉事務所) 期日：7 月 9 日、9 月 10 日、11 月 12 日、1 月 14 日 相談人数計 7 名 (4 回) (3) いわき会場 (いわき市総合保健福祉センター) 期日：4 月 23 日 相談人数計 3 名 (1 回) (4) 会津若松会場 (会津保健福祉事務所) 期日：4 月 10 日、6 月 12 日、8 月 7 日、10 月 9 日、12 月 11 日 相談人数計 9 名 (5 回) (5) 南相馬会場 (相双保健福祉事務所) 期日：3 月 25 日 相談人数計 1 名 (1 回)	
広報・啓発事業の実施	
1. 求職者向けリーフレットの作成・配布 配布先：児童扶養手当受給者 (市町村経由) 22,350 枚 2. こどもたちと地域をつなぐ元気応援情報誌「元気ッズ！ふくしま(7月号)」の広告掲載 3. 県政情報コーナーにおけるひとり親就労支援カードの設置 8 月：6 店舗 450 枚、10 月：207 店舗 2,070 枚 4. 求人向けリーフレットの作成・配布 配布先：各商工会等 5,900 枚 5. ラジオによる広報 ふくしま FM 12 月 18 日 6. 求職者向けカード、カードフォルダの作成・配布 配布先：市町村、市町村社会福祉協議会、民生児童委員、公共職業安定所等 12,900 枚	
会議・研修会等への参加 (随時 通年)	
1. ハローワーク二本松管内生活福祉・就労支援協議会 (5 月 21 日 ハローワーク二本松) 2. 福島県生活困窮者自立促進支援モデル事業会津保健福祉事務所管内支援調整会議 (6 月 26 日 会津美里町、11 月 21 日 猪苗代町、2 月 9 日・3 月 19 日 北塩原村) 3. 母子自立支援員等業務研修会 (7 月 11 日・3 月 2 日 福島市 福島県主催) 4. ひとり親自立支援プログラム事業内容説明訪問 (7 月 16 日 ハローワーク平・磐城・勿来、 ふくしま就職応援センターいわき、7 月 17 日 ハローワーク相双・相馬、南相馬市、相馬市、 ふくしま就職応援センター相双) 5. ひとり親在宅就業推進事業おしごとサロン (8 月 31 日 会津若松市、9 月 21 日いわき市、 10 月 18 日 相馬市、12 月 7 日郡山市、12 月 13 日福島市)	

6. 生活保護受給者等就労自立促進事業に係る児童扶養手当受給者へのグループワーク (10月30日 ハローワーク二本松)	
7. 東北・北海道ブロック母子家庭等就業・自立支援センター職員養成セミナー (11月7日 青森市)	
8. 福島県ひとり親家庭等自立支援計画策定懇談会 (11月19日・3月4日 福島市)	
イ) 求人情報の提供 就業情報提供事業の実施(随時 通年)	
1. 新規求人件数	317件(405件) ※()内は前年度実績
2. 求職相談件数	2,418件(3,515件)
3. 新規求職登録人数	257名(348名)
4. 紹介状発行件数	58件(101件)
5. 就職人数	121名(151名)
6. 求人情報等提供件数	4,823件(4,672件)
ウ) 求人の開拓 求人の開拓(随時 通年)	
1. 企業開拓訪問等(求人開拓)件数	593件(1,096件)
2. マッチング件数	6名(15名)
②就業意識の啓発と能力開発事業の充実 ア) 自立に向けた就業意識の向上 ひとり親自立支援プログラム策定事業の実施	
1. プログラム作成人数	79名(80名)
2. 面接実施件数	130件(174件)
3. 生活保護受給者等就労自立促進事業への移行人数	63名(47名)
4. 就職人数	60名(53名)
イ) 能力開発のための講習会の実施 個別講習の実施	
1. 応募書類作成個別講習	57名
2. 親子ふれあい講習会「Let's親子でCooking!」 (7月26日 本宮市、8月9日 福島市 参加者15名)	

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(3) 地域生活定着支援センター事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事業報告

①地域生活定着支援センター事業の実施

ア) 特別調整対象者等への支援

コーディネート業務・フォローアップ業務

1. 特別調整対象者等の依頼人数（平成 25 年度依頼の継続 5 名含む）

38 名（高齢 19、知的 10、身体 3、精神 6）

※県内保護観察所からの依頼 29 名、県外保護観察所等からの依頼 9 名

2. 退所後の受入先帰住（平成 24・25 年度依頼の継続対象者も含む）

19 名（高齢 9、知的 6、身体 2、精神 2）

養護老人ホーム	高齢関係施設	障がい関係施設	障がい者 GH	自宅	その他	合計
2	3	2	3	3	6	19

3. 面接・支援実施状況（面接、訪問調整等）

矯正施設面接	市町村（行政）	相談事業所	受入施設等	その他の機関	退所後対応	合計
91	43	9	34	26	159	362

相談支援業務

1. 相談支援ケース（8 ケース）

会議の開催

1. 福島県地域生活定着支援センター運営推進委員会

第 1 回（8 月 19 日 福島市）

第 2 回（2 月 2 日 福島市）

2. 関係機関連絡会議の開催

（1）郡山市関係機関連絡会議（11 月 12 日 郡山市）

（2）いわき市関係機関連絡会議（1 月 9 日 いわき市）

広報啓発活動

1. 「矯正施設を退所した高齢者・障がい者の地域生活支援研修会」（11 月 21 日 郡山市 108 名）

2. 会議・研修等での周知活動

（1）伊達介護支援専門員連絡協議会総会（4 月 26 日 伊達市）

（2）福島県社会福祉士会講演会（5 月 25 日 郡山市）

（3）地域包括・在宅介護支援センター協議会職員研修（6 月 5 日 郡山市）

（4）第 45 回東北地区救護施設研究協議大会（6 月 25 日 郡山市）

（5）軽費老人ホーム、養護老人ホーム相談員勉強会（9 月 19 日 福島市）

（6）福島県自立更生促進センター運営連絡会議（10 月 17 日 福島市）

（7）福島県職員福祉職連絡会（11 月 28 日 福島市）

（8）福島市地域包括支援センター連絡協議会（12 月 16 日 福島市）

関係会議・研修等への参加

1. 全国地域定着支援センター協議会総会（6月6日 東京都）
2. 北海道・東北ブロック地域生活定着支援センター会議（6月30日 山形県）
3. 北海道・東北ブロック地域生活定着支援センター事例研修会（7月1日 山形県）
4. 地域生活定着支援センター社協関係者連絡会議（7月30日～8月1日 沖縄県）
5. 福祉サービスを必要とする罪を犯した知的障害者等の地域生活支援を行う施設職員等研修会（9月12日 東京都）
6. 福島県生活困窮者自立促進支援モデル事業中間報告会（10月7日 郡山市）
7. 北海道・東北ブロック地域生活定着支援センター会議（10月28日 山形県）
8. 罪を犯した発達障がいのある人を支援するセミナー（10月29日 山形県）
9. 生活困窮者自立支援全国研究交流会（11月8日～9日 兵庫県）
10. 全国地域生活定着支援センター協議会実務研究委員会（11月14日 東京都）
11. 非行・犯罪に至った知的障害者を支援し続ける人のための双方向参加型研修会（12月13日 東京都）
12. 福島県生活困窮者自立促進支援モデル事業結果報告会（2月12日 福島市）
13. 福島刑務所公開研究授業（2月13日 福島市）
14. 北海道・東北ブロック事例検討会およびセンター会議（2月17日 宮城県）
15. 刑務所出所者等に対する福祉支援に係る事例研究会（2月18日 宮城県）
16. リーガルソーシャルワークシンポジウム（3月1日 東京都）
17. トラブル・シューター アドバンスセミナー（3月28日 宮城県）
18. 高齢又は障害等を有するために自立が困難な受刑者等への地域生活定着促進事業等にかかる関係
機関連絡協議会
第1回（11月13日 福島市）
第2回（12月16日 福島市）
第3回（1月20日 福島市）
第4回（2月24日 福島市）
第5回（3月9日 福島市）

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】自立に向けた援助活動

(4) 生活復興ボランティアセンター事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①被災者・避難者の生活支援	
ア) 生活支援相談員の階層・テーマ別研修の実施	
生活支援相談員基礎研修の開催	
第1回	5月15日～16日 参加者：49名（ビッグパレットふくしま）
第2回	10月23日～24日 参加者：32名（県男女共生センター）
生活支援相談員チーフ研修の開催	
11月5日～6日 参加者：25名（県男女共生センター）	
テーマ「コミュニティソーシャルワークの視点を学ぶ」	
生活支援相談員テーマ別研修の開催	
第1回	6月17日 参加者：77名（県総合社会福祉センター）
テーマ「変化への対応～面接技術の向上・生活の変化への対応」	
第2回	8月8日 参加者：72名（県総合社会福祉センター）
テーマ「メンタルヘルス・支援者のための実践的なコミュニケーション」	
第3回	10月21日 参加者：70名（県総合社会福祉センター）
テーマ「原発事故で全町村避難された方々への支援」	
生活支援相談員対象放射線リスクコミュニケーション研修の開催準備	
1. 放射線リスクコミュニケーション研修プログラム検討のための研修	
期日：3月11日 参加者：統括生活支援相談員等10名（環境省除染プラザ、福島市）	
2. 放射線リスクコミュニケーションモデル研修会	
期日：3月17日 参加者35名（いわき市社会福祉センター）	
参加対象：南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、いわき市社協	
イ) 生活支援に関する情報共有や事例検討の実施	
【新規】「福島的生活支援のこれからを考えるシンポジウム」の開催	
「ふくしまの避難者生活支援のこれからを考えるセミナー」（基調講演、パネルディスカッション）	
期日：12月19日 参加者84名（ビッグパレットふくしま）	
ウ) 生活支援相談員活動の総合的支援	
避難元及び避難先社協の地区連絡会議の開催	
1. 地区別に実施（延べ実施回数52回、福島地区・安達地区・郡山市・三春町・白河地区・会津若松市・相馬市・いわき市）	
2. 避難社協生活支援相談員全体会（延べ実施回数33回、南相馬市・富岡町・双葉町）	
3. 生活復興ボランティアセンター月例報告会（実施回数11回、県関係3課出席）	
4. 生活支援相談員配置市町村社協連絡会議	
第1回 8月7日（生活支援相談員活動実施要領、相談員活動に関する意見交換）	
第2回 11月28日（27年度生活支援相談員配置人数・活動に関する意見交換）	

市町村社協訪問事業の実施

1. 市町村社協・生活支援相談員活動支援（延べ実施回数：143回）
2. 災害（復興）公営住宅等への住み替え支援策検討のための意見交換会
7月14日（いわき市社協）、7月15日（南相馬市・新地町社協）
3. 生活支援相談員配置社協次年度配置打合せ
10月30日（大熊町、会津若松市）、10月31日（郡山市、富岡町）、
11月4日（田村市、葛尾村、三春町）、11月7日（新地町、相馬市、南相馬市、広野町、
11月11日（二本松市、浪江町、本宮市）、11月12日（福島市）、
11月13日（双葉町、楡葉町、いわき市）、11月17日（国見町、桑折町、伊達市）、
11月18日（川俣町、飯舘村）、11月25日（西郷村、白河市、矢吹町、須賀川市）、
11月27日（川内村、大玉村）

生活支援相談員活動等PR事業の実施

1. 福島県生活復興ボランティアセンターホームページ「生活支援相談員通信」での
活動内容に関する記事の掲載（61回）
2. 福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」での生活支援相談員活動等に関する特集記事の掲載
10月号「復興公営住宅・災害公営住宅への移行期における支援～長期避難者が安心して過ごせる
生活拠点であるために～」
3月号「東日本大震災から4年 被災者支援のこれまでとこれから」
3. 「ふくしまの未来へ心ひとつに 生活支援相談員の活動」の作成・配布
作成部数 400部
配布先：市町村社協（生活支援相談員分含む）、市町村行政、市町村民児協、関係NPO、県関係課等
4. 新聞への広告掲載（生活支援相談員活動紹介・募集）
3月28日福島民報・福島民友ミニコミ誌、3月30日福島民友

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

全国・他県被災地との連絡会・セミナーへの出席等

1. 全社協地域福祉推進委員会・被災社協復興支援委員会（6月19・20日 東京都）
2. 福島県の避難者への効果的な福祉支援の在り方調査研究委員会
（8月1日・29日、9月19日、10月13日、11月23日 東京都）
3. 復興庁企画官による生活支援相談員に関するヒアリング（8月25日 仙台市）
4. 東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）ケース検討会議 in 福島（8月26日 福島市）
5. 東日本大震災被災3県社協情報共有会議（全社協主催）
（9月11日・12日 仙台市、10月23日 福島市）
6. 第9回東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）現地会議 in 福島（11月17日 いわき市）
7. 第3回日本財団「WORK FOR 東北」県外から被災地で働く希望者説明会（1月24日 東京都）
8. 内閣府主催「（放射線不安等に対応する）相談員制度の運用に関する実務者会合（2月20日 福島市）

【生活支援相談員の活動状況】

市町村社協に配置されている生活支援相談員の活動状況については以下のとおり。（3月31日現在）

（１）訪問活動の状況

訪問活動において把握した要援護世帯に対する延べ訪問世帯件数（62,370件）、様子伺い（452,346件）、訪問したが留守（256,394件）を合計すると771,110件の訪問活動を行っている。生活支援相談員は2人一組での活動が主であるため、実訪問活動件数は概ね385,555件となる。

※（ ）内は、前年度のデータ

家族構成	訪 問 数	
	対象世帯数	延べ訪問世帯件数
① ひとり暮らし（別居の家族なし）	3,148 （ 3,358）	5,533 （ 6,105）
② ひとり暮らし（別居の家族あり）	8,357 （ 9,298）	16,029 （17,126）
③ 高齢者・障がい者のみ世帯（夫婦等）	8,766 （10,328）	13,827 （17,098）
④ 高齢者・障がい者がいる世帯	12,412 （14,054）	16,827 （20,355）
⑤ 母子・父子世帯	353 （ 499）	479 （ 683）
⑥ 乳幼児がいる世帯	1,287 （ 1,352）	1,431 （ 1,511）
⑦ その他同居家族有り	6,830 （ 8,110）	8,244 （ 9,920）
合 計	41,153 （46,999）	62,370 （72,798）

（２）訪問活動による相談受付内容

要援護世帯への訪問活動における相談内容では、「日常生活」に関する相談が最も多く全体の33.6%、次いで「健康・医療」（26.1%）の順となっている。その他、「家族」「住居」に関する相談内容が増加の傾向にある。（複数回答）

※（ ）内は、前年度のデータ

内 容	件数	割合（%）
1. 日常生活	54,998 （ 63,274）	33.6% （ 29.5%）
2. 健康・医療	42,679 （ 48,474）	26.1% （ 22.6%）
3. 介護	5,065 （ 6,352）	3.1% （ 3.2%）
4. 家族	20,188 （ 21,390）	12.3% （ 10.8%）
5. 制度	1,918 （ 2,367）	1.2% （ 1.4%）
6. 金銭問題	1,151 （ 1,465）	0.7% （ 1.0%）
7. 法律	182 （ 385）	0.1% （ 0.1%）
8. 就労	3,323 （ 4,569）	2.0% （ 3.3%）
9. 住居	14,707 （ 12,710）	9.0% （ 6.9%）
10. その他	19,552 （ 53,335）	11.9% （ 23.4%）
合 計	163,763 （214,321）	100.0% （100.0%）

<基本目標 2> その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 2】 自立に向けた援助活動

(5) 生活困窮者自立促進支援モデル事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容
事業報告
①生活困窮者の自立支援 ア) 自立相談支援モデル事業の実施 相談支援員の配置
【県北】主任相談支援員 1 名、相談支援員 1 名、就労支援員 1 名 事務所：県総合社会福祉センター内 【会津】(4 月 1 日) 主任相談支援員 1 名 (5 月 1 日) 相談支援員 1 名、就労支援員 1 名 事務所：会津若松市社会福祉協議会本所内
定期、随時による相談会の実施
【県北】対象 4 町村への事業周知と対象者把握 1. 事業説明会の開催（県との共催）：4 月 23 日 県社協 4 町村行政及び社協の事業担当者対象 2. 民生児童委員協議会への事業説明と対象者把握 管内 4 町村民児協の総会及び研修会等において昨年度の本事業と今年度の展開について説明を行い、併せて対象者の把握を依頼した。その後対象者を把握している民生委員と個別の面談を実施した。 3. 個別相談 相談受付件数 22 件（内訳は別紙のとおり） 【会津】対象 11 町村への事業周知と対象者把握 1. 事業説明会の開催（県との共催）：4 月 18 日 会津若松市社協北会津支所 11 町村行政及び社協の事業担当者対象 2. 社協への事業説明と対象者把握 管内 11 町村社協の理事会または評議員会において本事業の説明を行い対象者把握に努めた。 3. 民生児童委員協議会への事業説明と対象者把握 管内 11 町村民児協の総会及び研修会等において本事業の説明と対象者の把握を依頼し、その後対象者を把握している民生委員と個別の面談を実施した。 4. 個別相談 相談受付件数 79 件（内訳は別紙のとおり）
支援計画策定、支援調整会議の開催
【県北】支援調整会議の開催（随時 17 回、初回プラン策定数 15） 桑折町（8 月 4 日、9 月 30 日、12 月 16 日、3 月 24 日） 国見町（6 月 9 日、7 月 14 日、9 月 30 日、11 月 10 日、3 月 26 日） 川俣町（6 月 11 日、8 月 27 日、11 月 25 日、3 月 27 日） 大玉村（4 月 25 日、8 月 21 日、12 月 17 日、3 月 27 日） 【会津】支援調整会議の開催（随時 16 回、初回プラン策定数 13） 北塩原村（8 月 20 日、10 月 17 日） 西会津町（6 月 13 日、8 月 19 日、12 月 16 日） 磐梯町（8 月 20 日）

猪苗代町（10月17日、11月21日、2月10日）
 湯川村（7月4日、8月19日、9月10日、10月8日、10月28日、12月16日）
 三島町（7月4日）
 会津美里町（5月27日、6月26日、11月21日）

会議・研修会等への参加

【県北】管内における会議等

5月14日「福島県生活福祉・就労支援協議会」福島労働局主催
 5月21日「二本松管内生活福祉・就労支援会議」ハワーワーク二本松主催

【会津】管内における会議等

5月13日「会津地区町村生活保護事務担当国会議」会津保健福祉事務所主催
 5月28日「会津地域生活福祉・就労支援協議会」ハワーワーク会津主催
 7月2日「県社協地域包括・在宅介護支援センター協議会会津支部総会」
 7月30日「若者自立支援担当者セミナー」県若者自立総合支援事業
 8月11日「面接技術理解促進研修」会津若松市障がい者総合相談窓口
 10月31日「昭和村地域福祉活動講演会」昭和村社協主催

イ）生活困窮者支援体系の検討

検討委員会の開催

第1回検討委員会

期日：7月3日 会場：県総合福祉センター
 内容：事業実施状況の確認と今後の事業展開の方向性等

第2回検討委員会

期日：10月7日 会場：県農業総合センター
 内容：中間報告会の開催内容・報告事項について

第3回検討委員会

期日：1月20日 会場：県総合福祉センター
 内容：事業報告書（案）、事業報告会について

結果報告会の開催

1. 中間報告会

期日：10月7日 会場：県農業総合センター 107名
 内容：行政説明、実績報告、パネルディスカッション

2. 結果報告会

期日：2月12日 会場：ビッグパレットふくしま 113名
 内容：行政説明、実績報告（作成DVD視聴を含む）

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

全国・他県被災地との連絡会・セミナーへの出席等

1. 社会福祉協議会活動全国会議（東京都 6月12日～13日）

2. 自立相談支援事業従事者養成研修（厚生労働省主催）

主任相談支援員養成研修

前期：7月14日～16日（東京都） 後期：8月26日～28日（神奈川県）

相談支援員養成研修

前期：9月8日～10日（東京都） 後期：10月6日～8日（神奈川県）

就労支援員養成研修

前期：11月4日～6日（東京都） 後期：12月8日～10日（神奈川県）

3. 広域的な連携・支援による町村部の総合相談・地域生活支援体制の構築のあり方に関する調査研究委員会（全社協設置）

第1回委員会：8月3日（東京都）

第2回委員会：11月13日（東京都）

第3回委員会：11月27日（東京都）

現地ヒアリング（福島県ヒアリング）：9月10日・11月17日

（高知県ヒアリング）：9月16日

4. 全国民生児童委員連合会評議員セミナー（東京都 9月12日） ※実践報告実施

5. 社協・生活支援活動強化方針推進セミナー

（秋田市、湯沢市、藤里町 11月11日～12日） ※実践報告実施

【生活困窮者自立促進支援モデル事業 相談受付・支援実施の内訳】

(平成 27 年 3 月末日現在状況)

					県北	会津	合計						県北	会津	合計	
1. 相談受付総数(同意なし、同意あり含む)								3. 支援実施・プラン策定状況								
受付総数					22	57	79	新規支援者					15	21	36	
内 訳	性別	男性			16	40	56	継続支援者					12	11	23	
		女性			6	14	20	初回プラン策定	支援調整会議開催ケース数				15	17	32	
		不明			0	3	3		支援決定・確認ケース数				15	17	32	
	年齢	～10代			0	2	2		内訳	支援決定数				0	0	0
		20代			0	1	1	確認のみ数				15	17	32		
		30代			4	6	10	再プラン策定	支援調整会議開催ケース数				10	9	19	
		40代			2	9	11		支援決定・確認ケース数				7	11	18	
		50代			6	18	24		内訳	支援決定数				0	0	0
		60～64歳			5	11	16			確認のみ数				7	11	18
		65歳～			5	2	7	プラン期間内での一般就労を目標に掲げているケース数					12	23	35	
		不明			0	8	8									
	相談経路	本人(来所)			15	6	21	サービス等利用法に基づく	一時的な居住等の支援				0	0	0	
		本人(電話)			2	3	5		住宅支援給付金				0	0	0	
		家族・知人(来所)			1	0	1		家計相談支援事業				0	0	0	
		家族・知人(電話)			0	1	1		就労準備支援事業				0	0	0	
		自立相談支援機関が把握			1	0	1		就労訓練事業				0	0	0	
		関係機関・関係者紹介			19	49	68		自立相談支援事業による就労支援				11	22	33	
		その他			0	5	5		貸付事業の利用支援				0	0	0	
		不明			1	0	1		生活保護受給者等就労自立促進事業				8	14	22	
2. 緊急支援・スクリーニング実施状況																
緊急支援	緊急支援の必要性:あり				2	0	2	評価	評価実施ケース数				15	22	37	
	緊急支援の必要性:なし				17	50	67		内訳	終結(支援終了)ケース数				9	8	17
	内訳	一時的な居住等の支援			0	0	0			支援継続ケース数				6	14	20
		住宅支援給付金			0	0	0									
スクリーニング結果	スクリーニング実施ケース数				19	50	69									
	内訳	情報提供・相談対応のみで終了			5	20	25									
		他制度・他機関等へのつなぎ			2	6	8									
		本人未同意、同意に向けて取り組む			0	0	0									
		継続支援し、プラン策定			12	24	36									
		スクリーニング判断前に中断・終了			0	0	0									
		不明			0	0	0									

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 3】福祉サービスの利用者支援

(1) あんしんサポート事業（日常生活自立支援事業）

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①全市町村社協実施	
ア) 業務説明会等の開催	
市町村社協への業務委託（4月～3月）	
全市町村社協へ業務を委託	
市町村社協連絡会議の開催	
期日：6月10日 参加者：42名（県総合社会福祉センター）	
内容：25年度事業実施状況、26年度事業実施内容、成年後見制度と社会福祉協議会、意見交換 等	
市町村社協への現地支援 相談対応、契約等支援	
困難ケースの相談等に対する運営支援	
・伊達市社協（4月30日） ・白河市社協（10月21日） ・矢吹町社協（10月21日） ・会津若松市社協（5月14日） ・猪苗代町社協（7月15日、11月13日） ・南相馬市社協（7月2日、12月18日） ・富岡町社協（8月27日） ・いわき市社協（4月24日、5月22日、6月26日、7月31日、8月28日、9月25日、10月29日）	
契約締結審査会の開催	
契約締結能力に疑義があるケースについて専門的見地から審査会を開催し適切な支援に努める。	
【第1回】 期日：5月13日	
内容：平成26年3月～4月の契約ケース9件、解約ケース17件の協議等	
【第2回】 期日：7月8日	
内容：平成26年5月～6月の契約ケース22件、解約ケース13件の協議等	
【第3回】 期日：9月9日	
内容：平成26年7月～8月の契約ケース18件、解約ケース13件の協議等	
【第4回】 期日：11月11日	
内容：平成26年9月～10月の契約ケース15件、解約ケース16件の協議等	
【第5回】 期日：1月13日	
内容：平成27年11～12月の新規ケース12件、解約ケース5件の協議等	
【第6回】 期日：3月10日	
内容：平成27年1～2月の新規ケース13件、解約ケース20件の協議等	
イ) 事務軽減の検討実施	
システム導入及び手続き様式の改定検討	
随時検討	
②関係者が潜在的利用者を発掘する取り組み	
ア) 市町村社協担当職員の相談援助技術の向上	
市町村社協新規担当職員等業務内容説明会の開催	

期日：6月10日 参加者：19名（県総合社会福祉センター） 内容：あんしんサポートと成年後見制度の概要・あんしんサポート社協専門員（担当者）としての業務内容について
担当職員研修会の開催 あんしんサポート担当職員研修会 期日：2月25日 参加者：58名（県総合社会福祉センター） 内容：平成27年度以降のあんしんサポート（日常生活自立支援事業）について
事例検討会【新規】 実践の振り返りと担当者間の事例の共有により、課題対応力の向上を図る。契約締結審査会の際に開催。 ・第1回（5月13日） 17名 ・第2回（7月8日） 15名 ・第3回（9月9日） 15名 ・第4回（11月11日） 14名 ・第5回（1月13日） 14名 ・第6回（3月10日） 7名
生活支援員新規委嘱者研修会の開催 新規生活支援員への事業理解を図るため、事業の基本的内容の研修実施。 ・伊達市社協（5月7日）1名 ・郡山市社協（8月19日）2名、（11月6日）1名 ・会津若松市社協（5月14日）2名、（3月30日）2名 ・猪苗代町社協（7月15日）1名 ・南相馬市社協（7月2日）1名、（11月12日）1名 ・西会津町社協（3月11日）2名 ・南会津町社協（3月12日）1名 ・会津坂下町社協（3月30日）2名
生活支援員実働者研修会の開催 生活支援員（実働者）に対する研修実施。 期日：12月19日 参加者：61名（ビッグパレットふくしま） 内容：障がいのある方への理解と対応
イ）関係者等が潜在的利用者を発見するための周知活動 パンフレット作成 関係機関配布用10,000部を作成し関係機関に配布
県民、関係機関・団体等への制度周知 1. 関係機関・団体からの要請によりあんしんサポート並びに成年後見制度の説明を実施。 ・県生活保護担当課長・査察指導員会議（4月7日）50名 ・特定非営利活動法人成年後見センター4月定例研修会（4月21日）9名 ・訪問介護員初任者研修（5月26日）116名 ・福島大学講義「福祉的支援を要する人の権利擁護とその方法」（6月21日）9名 ・川内村民生児童委員定例会（8月19日）25名

- ・双葉町民生児童委員定例会（8月27日）21名
 - ・檜葉町民生児童委員定例会（8月28日）22名
 - ・社会福祉士会「福祉関係者のための成年後見活用講座」（10月30日）80名
 - ・浪江町社協生活支援相談員事例検討会での説明（11月13日）25名
 - ・伊達介護支援専門員連絡協議会研修会（12月6日）70名
 - ・相馬市社協主催権利擁護・ほっとネット協力員養成講座（3月9日）19名
2. 寸劇を通して、身近な権利侵害やその防止のための金銭管理支援について周知。
- ・安達地方民生児童委員研修会（8月25日）238名
 - ・白河市東地区敬老会（10月3日）210名
 - ・南相馬市社協主催「くらしのあんしんおてつだい講座」（10月9日）250名
 - ・金山町社協主催「平成26年度福祉のつどい」（11月14日）53名

③成年後見制度利用促進

ア) 本事業と成年後見制度の周知

関係機関連絡会議の開催

あんしんサポートの円滑は業務執行と、成年後見制度との連携を図るため、家庭裁判所・弁護士会・司法書士会・社会福祉士会・市町村行政等との会議を開催。

期日：3月24日 参加者：22名

内容：あんしんサポート（日常生活自立支援事業）の概況
福島県における成年後見関係事件の概況
権利擁護に関する関係機関等の取組み状況について

権利擁護研修会【新規】

成年後見制度の周知を図るとともに、地域社会全体で支える権利擁護のあり方や成年後見が活かされる取組み等について取上げる。

期日：2月12日 参加者：225名（ビッグパレットふくしま）

内容：講師：講談師 神田 織音 氏

第1話：経済的虐待を防ぐために～家族による預貯金や年金の使い込み～

第2話：認知症の老姉妹を食い物に～頻発する住宅リフォーム詐欺～

第3話：身上監護でその人らしく最期まであなたに寄り添う成年後見人
～財産管理だけではない成年後見制度～

イ) 本事業から成年後見制度移行のシステムづくり

本事業から成年後見制度への円滑な運用の検討（通年）

上記、関係機関連絡会議等による検討。

ウ) 市民後見人養成及び法人後見実施に向けての取り組み

市町村社協連絡会議の開催（再掲） 関係機関連絡会議の開催（再掲）

1. 市町村社協連絡会議

期日：6月10日 参加者：42名

2. 関係機関連絡会議

期日：3月24日 参加者：22名

市民後見人養成講座の開催【新規】

今後ますます増加する成年後見制度利用者に対応するため、特に身上監護を担う市民による後見人等が担える人材を養成するため本講座を開催

受講者：27名 修了者：24名（会津アピオスペース） 期 日：9月24日、9月30日、10月6日、10月20日、10月24日、10月30日
成年後見人等監督人の受任【新規】 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症や障がい等により判断能力が不十分となった場合の成年後見制度の適切な利用を支援するため、家庭裁判所と調整し受任する。
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 北海道・東北ブロック道県指定都市日常生活自立支援事業担当者会議の開催 期 日：12月2日～3日 会 場：ホテル福島グリーンパレス 参加者：10名（各道県・指定都市社協職員）
会議・研修会等への参加 1. 都道府県・指定都市社協日常生活自立支援事業所長会議（5月30日 東京都） 2. 社会福祉協議会活動全国会議（6月12～13日 東京都） 3. 都道府県指定都市社会福祉協議会 地域福祉担当臨時部・課長会議（2月9日 東京都） 4. 日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ（2月22～24日 神奈川県）

【問合せ・相談件数、契約件数】 ※平成27年3月31日現在、（ ）内は前年度実績。

	計	高齢者 (認知症等)	知的障がい 者など	精神障がい 者など	不明・その他	その他相談
問合せ・相談 件数	17,248件 (12,833件)	7,499件 (5,551件)	4,313件 (3,352件)	3,196件 (2,162件)	2,240件 (1,768件)	0件 (0件)
初回相談件数	359件 (303件)	217件 (181件)	41件 (41件)	62件 (44件)	39件 (37件)	0件 (0件)
契約件数	106件 (92件)	58件 (58件)	18件 (19件)	28件 (9件)	2件 (6件)	

【契約件数の累計】 ※平成27年3月31日現在、（ ）内は前年度実績。

	計	高齢者 (認知症等)	知的障がい 者など	精神障がい 者など	不明・その他
契約件数(事業開始以来件数)	807件 (701件)	465件 (407件)	145件 (127件)	125件 (97件)	72件 (70件)
解約件数(事業開始以来件数)	434件 (351件)	302件 (238件)	54件 (44件)	39件 (34件)	39件 (35件)
実利用件数	373件 (350件)	163件 (172件)	91件 (80件)	86件 (64件)	33件 (34件)
契約準備件数	26件 (28件)	14件 (15件)	5件 (4件)	7件 (7件)	0件 (2件)

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 3】福祉サービスの利用者支援

(2) 福祉サービス第三者評価事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①福祉サービス第三者評価事業の実施	
ア) 福祉サービス第三者評価の受審促進	
福祉サービス第三者評価事業の実施（通年）	
1. 申込みの受付	
(1) 相馬愛育園（児童養護施設）	
(2) すこやか の 里（特別養護老人ホーム）	
(3) 福島県 ばんだい 荘あおば（障害者支援施設）	
(4) アイリス学園（児童養護施設）	
(5) 郡山市 ひまわり 荘（母子生活支援施設）	
(6) いわき 育英舎（児童養護施設）	
(7) 福島 敬香ハイム（母子生活支援施設）	
(8) 福島 ばなみ 保育園（保育所）	
(9) あづま 授産所（障害者福祉サービス事業所）	
(10) 白水 のぞみ 保育園（保育所）	
2. 評価調査（書面調査・利用者調査・訪問調査・事後訪問）の実施	
(1) 相馬愛育園（第1回訪問 7 月 24 日、第2回訪問 8 月 21 日、事後訪問 10 月 23 日）	
(2) すこやか の 里（第1回訪問 8 月 29 日、第2回訪問 9 月 29 日、事後訪問 12 月 3 日）	
(3) 福島県 ばんだい 荘あおば（第1回訪問 9 月 10 日、第2回訪問 10 月 8 日、事後訪問 12 月 10 日）	
(4) アイリス学園（第1回訪問 9 月 16 日、第2回訪問 10 月 15 日、再訪問 11 月 11 日、事後訪問 1 月 7 日）	
(5) 郡山市 ひまわり 荘（第1回訪問 10 月 1 日、第2回訪問 11 月 12 日、事後訪問 2 月 5 日）	
(6) いわき 育英舎（第1回訪問 10 月 22 日、第2回訪問 11 月 26 日、事後訪問 2 月 5 日）	
(7) 福島 敬香ハイム（第1回訪問 11 月 18 日、第2回訪問 12 月 16 日、事後訪問 2 月 27 日）	
(8) 福島 ばなみ 保育園（第1回訪問 1 月 21 日、第2回訪問 2 月 13 日）	
(9) 白水 のぞみ 保育園（第1回訪問 1 月 20 日、第2回訪問 2 月 17 日）	
3. 評価審査委員会の開催（7 回）	
(1) 4 月 17 日、10 月 16 日、11 月 20 日、12 月 18 日、1 月 22 日、2 月 19 日、3 月 19 日 福島市	
4. 関係会議への参加	
(1) 福祉サービス第三者評価事業評価事業普及協議会（5 月 26 日 東京都）	
(2) 福島県第三者評価推進会議（6 月 12 日 福島市）	
(3) 福島県第三者評価推進組織と評価機関との連絡会議（6 月 30 日 福島市）	
(4) 北海道・東北ブロック道県・政令指定都市社協第三者評価事業等推進会議 （9 月 10～11 日 秋田県秋田市）	
(5) 岩手県評価機関視察（3 月 4 日～5 日 岩手県）	
福祉サービス第三者評価～自己評価～研修の開催（2 回）	
1. 全種別施設対象研修（7 月 22 日 郡山市 84 名参加）	
2. 保育所対象研修（1 月 15 日 郡山市 19 名参加）	

福祉サービス第三者評価出前講座の開催

1. 出前講座、事前説明及び周知訪問等

- (1) すこやか の 里 (4月22日、5月27日)
- (2) 相馬愛育園 (5月21日)
- (3) 福島ぼなみ保育園 (5月23日)
- (4) アイリス学園 (6月3日)
- (5) 福島県ばんだい荘あおば (6月4日)
- (6) いなわしろホーム (6月18日)
- (7) 福島敬香ハイム (6月20日、9月29日)
- (8) 郡山市ひまわり荘 (6月26日)
- (9) いわき育英舎 (7月4日)
- (10) 福島ぼなみ保育園 (7月8日)
- (11) 白水のぞみ保育園 (10月21日)
- (12) コクーン (10月29日)
- (13) あづま授産所 (8月22日、12月2日)
- (14) 梁川保育園 (2月6日)
- (15) 青葉学園、梅の木保育園、本宮第1保育所 (3月17日)
- (16) 福島学園、会津みどりホーム、桐寿苑 (3月18日)

イ) 評価調査者の質の向上

評価調査者の養成・質の向上

1. 福島県福祉サービス第三者評価調査者養成研修会 (8月27日～9月2日 福島市 2名参加)
2. 福島県福祉サービス第三者評価調査者継続研修会 (9月1日 福島市 1名参加)
3. 福祉サービス第三者評価調査者全国研修会 (2月6日 東京都 2名参加)
4. 福島県福祉サービス第三者評価者向上研修会 (2月16日 福島市 11名参加)
5. 社会的養護関係施設福祉サービス第三者評価事業評価調査者養成研修会
(2月23日～26日 東京都 1名参加)
6. 社会的養護関係施設福祉サービス第三者評価事業評価調査者継続研修会
(2月23日～24日 東京都 1名参加)

評価調査者学習会の開催 (1回)

評価調査者学習会 (7月22日 郡山市 20名参加)

基本目標 2 > その人らしい生活・自立への支援

【推進項目 3】福祉サービスの利用者支援

(3) 福島県運営適正化委員会

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①苦情解決事業の充実	
ア) 苦情解決部会、運営監視部会の効果的・効率的運営 運営適正化委員会本会議の開催 (2 回)	
【第 1 回】	期日：9 月 30 日 内容：委員長・副委員長の互選 運営監視部会及び苦情解決部会委員の指名と各部会長・副部会長の互選
【第 2 回】	期日：3 月 24 日 内容：平成 26 年度事業実施状況中間報告、平成 27 年度事業計画 (案)
苦情解決部会の開催 (6 回)	
【第 1 回】	期日：6 月 13 日 内容：苦情申出に係る協議・検討、苦情対応報告、平成 26 年度苦情解決研修会の内容、福祉サービス苦情解決実施状況調査
【第 2 回】	期日：8 月 8 日 内容：苦情対応結果による今後の対応、苦情受付担当者研修会
【第 3 回】	期日：12 月 19 日 内容：苦情申立に係る協議・報告、苦情解決研修会の振返り、巡回訪問
【第 4 回】	期日：1 月 23 日 内容：苦情申立に係る協議・報告、巡回訪問
【第 5 回】	期日：3 月 16 日 内容：苦情申立に係る協議・報告、平成 27 年度苦情解決研修会
運営監視部会の開催 (2 回)	
【第 1 回】	期日：11 月 26 日 内容：本会の助言に対する県社協からの回答内容、あんしんサポート現地調査の実施先社協の選定、訪問調査時の調査票 (調査項目)、訪問調査員の割当
【第 2 回】	期日：3 月 24 日 内容：現地調査の結果、助言、勧告の有無 現地調査：浅川町 (1 月 20 日)、西会津町 (1 月 26 日)、猪苗代町 (2 月 17 日) 平田村 (2 月 25 日) の各社協
苦情受理、調査及び斡旋 (随時 通年)	
1. 苦情受付件数	41 件 (高齢者 24 件、障がい 8 件、児童 6 件、その他 3 件) 内容：職員の接遇 28 件、サービスの質や量 7 件、利用料 3 件、権利侵害 1 件、その他 2 件)
2. 相談件数	31 件
運営適正化委員会選考委員会の開催	
1. 運営適正化委員会選考委員交互者に関する公示	公示期間：8 月 11 日～8 月 24 日

公示場所：本会及び市町村社協掲示版、本会情報誌「はあとふるふくしま」8月号 2. 運営適正化委員会委員選考委員会の開催 期日：9月19日 内容：委員長・副委員長の選出、運営適正化委員会委員の選任
イ) 広報・啓発活動の充実 ポスター、カード型パンフレットの配布（随時 通年） 本会情報誌「はあとふる・ふくしま」及びホームページでの広告及び情報提供を行った。
ウ) 調査の実施 各事業所での苦情解決体制状況についての把握 対象事業所数：2,502 か所 調査実施期間：平成26年9月1日～9月30日 回答率：40.4%
②社会福祉施設（事業所）への支援 ア) 事業所への研修の充実 苦情解決責任者・第三者委員研修（3回） 苦情受付担当者研修（2回） 1. 苦情解決責任者・第三者委員研修 【会津方部】 7月10日、会津若松市、53名参加 【いわき方部】 7月16日、いわき市、22名参加 【中通り・相双方部】 7月30日、郡山市、98名参加 2. 苦情受付担当者研修 【基礎編】 10月8日、郡山市、131名参加 【応用編】 11月14日、郡山市、141名参加
イ) 苦情解決マニュアルや事例集等関係資料の内容充実 「福祉サービスの苦情解決事例集」の作成 各事業所での苦情解決体制状況についての調査時に併せて収集し、本会ホームページで公開。
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 苦情案件に関する事業所訪問（随時 通年） 1. 苦情解決部会委員、事業所、申出人との話し合い 期日：3月19日 2. 事業所訪問 対象：平成26年度及び過去に苦情の申し出があった事業所 期日：1月23日、3月10日 種別：社会福祉協議会（1か所）、児童関係（1か所）
全国・ブロック会議への参加 1. 運営適正化委員会事業研究協議会（8月18日 東京都） 2. 運営適正化委員会相談員研修会（10月9日～10日 東京都） 3. 北海道・東北ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議（10月30日～31日 札幌市）

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進
【推進項目 4】 広報啓発、情報提供活動

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①広報啓発の充実	
ア) 情報誌の充実	福祉情報誌『はあとふる・ふくしま』の発行（12回 毎月）
	4月より一部コーナーを刷新し、「元気な体いつまでも！介護予防体操」のコーナーを新しく設け、内容の充実に努めた。
イ) ホームページの充実	ページ内容の変更・修正・更新（随時 通年）
	随時、ホームページにて最新情報を提供した。
ウ) 発行物の効果的な活用	本会パンフレット作成
	部数 : 2,100 部 配布先：会員施設等
エ) 新たな広報活動の検討	様々な広報手段の活用
	随時、SNSフェイスブックにて最新情報を提供した。
②表彰事業の実施	
ア) 各種表彰の実施	第 68 回福島県社会福祉大会の実施（1回 11月）
	第 68 回福島県社会福祉大会 参加者 980 名 期日：11 月 19 日 会場：福島県文化センター 内容：①記念講演『サッカー少女から「なでしこジャパン」へ』 講師：プロサッカー指導者・監督 元なでしこジャパン 高倉麻子氏 ②式典・表彰状・感謝状贈呈 福島県知事感謝（28 名） 「瓜生岩子賞」表彰（2 名） 大会会長表彰（172 名・団体） 大会会長感謝（42 名・団体） 「赤い羽根共同募金運動スローガン」表彰（6 名）
	第 22 回瓜生岩子賞の贈呈（1回 11月）
	期日・会場：同上 受賞者：斎藤 朋子 氏（福島市）、伊藤 弥栄 氏（郡山市）

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 5】ボランティア・住民参加活動

(1) ボランティア・市民活動の振興

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①ボランティア・市民活動の基盤強化	
ア) 中間支援型組織の機能強化	
NPOと社協の連携作戦会議 (1回 30名程度 1月)	
期日：3月19日 参加者：49名 (ビッグパレットふくしま)	
イ) 受け入れ型組織に対する支援	
ボランティア受入福祉施設等担当者研修の開催	
1. 基礎編	
期日：6月19日 参加者：30名 (福島市アクティブシニアセンターアオウゼ)	
期日：6月20日 参加者：31名 (郡山カルチャーパーク)	
2. ステップアップ編	
期日：7月17日 参加者：26名 (郡山カルチャーパーク)	
期日：7月18日 参加者：23名 (福島市アクティブシニアセンターアオウゼ)	
ウ) 企業の社会貢献活動に対する支援	
県内企業の活動事例の紹介【新規】(1回)	
1. 福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」2月号における「株式会社いちい」の取り組み紹介	
2. 第18回福島県ボランティアフェスティバル (2月28日開催)	
分科会Aシンポジウムにおける「日本労働組合総連合会福島県連合会」の取り組み紹介	
②地域福祉を支える担い手の育成	
ア) インフォーマルサービスの拡充	
コミュニティソーシャルワーク研修会 (1回(2日)30名程度 12月)	
期日：3月2日 参加者：38名 (ビッグパレットふくしま)	
協働による地域の福祉力向上事業 (2回(1日))	
【第1回】 下郷町 (下郷ふれあいセンター)	
期日：11月26日 参加者：144名	
【第2回】 川俣町 (川俣町鶴沢公民館)	
期日：12月12日 参加者：89名	
イ) 学びの場の創出	
学生による交流の場づくり (1回(半日) 6月)	
1. 学生による交流の場づくり	
期日：1月10日 参加者：6名 (福島学院大学福島駅前キャンパス)	
2. ふくしま復興支援学生ネットワーク会議	
期日：10月27日 (郡山市)	

小中高生へのボランティア及び福祉教育の普及促進事業の実施（随時） ボランティア活動ハンドブックの作成・配布 作成部数：5,000部 配布時期：5月 配布先：市町村社会福祉協議会、中学校等
③災害に備えた支援の強化 ア) 要綱や指針などの策定支援 災害発生時の個別支援
1. 7.9 南陽市災害ボランティアセンターでのボランティア活動 7月17日（本会2名、白河市社協2名、喜多方市社協1名） 7月18日（本会2名、郡山市社協2名、喜多方市社協1名） 2. 二本松市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会及び福祉救援ボランティア連絡会議（2月17日）
イ) 災害ボランティアセンターに必要な訓練、研修会等の充実 災害ボランティアセンター運営講座の開催（1回(2日)30名程度 8月）
期日：8月11日 参加者：41名（須賀川市産業会館）
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 ボランティア活動推進委員会（2回(半日)8・3月）
【第1回】 期日：8月29日 内容：平成25年度事業報告、平成26年度事業計画と経過報告等 【第2回】 期日：3月17日 内容：平成26年度事業経過報告、平成27年度事業計画（案）等
市町村ボランティアセンター活動実践事例集の作成・配布（9月） 作成部数：250部 配布時期：10月 配布先：市町村社会福祉協議会、市民活動支援センター、関係機関等
第18回ボランティアフェスティバルの開催（1回(1日)600名程度 2月） 期日：2月28日 参加者：約900名（ビッグパレットふくしま） 内容：記念式典、記念講演、分科会等
【新規】第24回全国ボランティアフェスティバルに向けた準備
1. 実行委員会 【第1回】 期日：5月1日 内容：全国ボランティアフェスティバルの概要、委員長・副委員長の互選、大会テーマ等 【第2回】 期日：6月4日 内容：大会テーマ、全体プログラム、広報について 【第3回】 期日：8月6日 内容：専門部会の進捗状況、広報、第23回全国ボラフェスぎふの視察について 【第4回】 期日：12月10日 内容：第23回全国ボラフェスぎふの視察報告、専門部会の進捗状況等について

【第5回】 期日：3月13日

内容：開催経費（寄付金・協賛金の募集）、専門部会の進捗状況等について

2. 専門部会

【第1回】 期日：6月25日

内容：専門部会設置規程等について、分科会の内容検討

【第2回】 期日：8月6日

内容：部会長・副部会長の選任等について、部会ごとの内容検討

【第3回】 期日：10月17日

内容：第23回全国ボラフェスぎふの視察報告、部会ごとの内容検討

【第4回】 ※部会ごとに開催

①たすけあい・支え合いのまちづくり部会 期日：11月20日 内容：分科会の内容検討

②つながり・次世代ボランティア部会 期日：11月10日 内容：分科会の内容検討

③ふくしまの今と未来部会 期日：11月13日 内容：分科会の内容検討

④企画・広報部会 期日：11月11日 内容：全体会等の内容検討

【第5回】 ※部会ごとに開催

①たすけあい・支え合いのまちづくり部会 期日：1月16日 内容：分科会の内容検討

②つながり・次世代ボランティア部会 期日：1月14日 内容：分科会の内容検討

③ふくしまの今と未来部会 期日：1月19日 内容：分科会の内容検討

④企画・広報部会 期日：1月15日 内容：全体会等の内容検討

【第6回】 ※部会ごとに開催

①たすけあい・支え合いのまちづくり部会 期日：2月17日 内容：分科会の内容検討

②つながり・次世代ボランティア部会 期日：2月18日 内容：分科会の内容検討

③ふくしまの今と未来部会 期日：2月16日 内容：分科会の内容検討

④企画・広報部会 期日：2月19日 内容：全体会等の内容検討

会議・研修会等への参加

1. 都道府県・指定都市社会福祉協議会部・課・所長会議（4月24～25日 東京都）
2. 福島県総合防災訓練（8月31日 須賀川市）
3. 第23回全国ボランティアフェスティバルぎふ（9月27日～28日 岐阜県）
4. 市民セクター全国会議2014（11月21日～22日 東京都）
5. 平成26年度災害ボランティアセンター運営者研修（11月25日～27日 東京都）
6. 都道府県・指定都市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター担当者連絡会議（12月22日 東京都）

関係機関等への講師派遣及び協力援助

1. 福島県ボランティア連絡協議会 平成26年度総会（6月21日 郡山市）
2. 「ボランティアコーディネーション」についての講話（6月25日 福島市）
3. 福島県消防学校初任教育に対する情操教育（7月29日 福島市）
4. 福島県消防学校初任教育に対する情操教育（2月4日 福島市）

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 5】ボランティア・住民参加活動

(2) 長寿社会推進事業

実施計画／実施項目／当年度実施内容
事業報告
①長寿社会に向けての普及啓発活動の推進 ア) 広報誌の発行等 長寿社会に向けての的確な情報提供等 (12 回 月 1 回) 1. 長寿社会推進センター運営委員会の開催 開催日：平成 27 年 3 月 23 日 (福島市) 内 容：平成 26 年度事業実施状況について 平成 27 年度事業計画 (案) について 2. 総合社会福祉情報誌「はあとふる・ふくしま (別冊)」による広報 部 数：毎月 10,500 部 配布先：県、市町村、市町村社協、市町村老人クラブ連合会等
イ) いきいき長寿県民賞の顕彰 長寿社会イメージアップ作戦事業の実施 (1 回) 第 17 回いきいき長寿県民賞の表彰 応募：個人 18 件、団体 10 件 計 28 件 表彰式：9 月 1 日 (福島市) 受賞者：個人 9 名、団体 1 件 計 10 件
ウ) 自主事業の実施 長寿社会推進センター事業パンフレットの作成【新規】 部 数：5,000 部 配布先：県、市町村、市町村社協、市町村老人クラブ連合会等
復興支援 3.11 ある被災地の記録 刊行記念講演会の開催【新規】 開催日：6 月 30 日 (福島市) 参加者：55 名
元気高齢者発信事業 (通年) 活動事例調査及び広報 10 件 福島市 2 件、伊達市 3 件、須賀川市、泉崎村、金山町、南相馬市、いわき市 各 1 件
②高齢者の社会参加を促進するための環境整備 ア) シルバー美術展の開催 うつくしま、ふくしま。健康福祉祭の開催 (1 回 8 月) 第 24 回福島県シルバー美術展の開催 会場：福島県文化センター (福島市) 期間：8 月 28 日～ 9 月 1 日 表彰式：9 月 1 日 福島県文化センター 会議室兼展示室 (福島市) 出品作品数：398 点

イ) 高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会への支援 いきいきシニア活動サポート事業の実施 (通年) サザンクロスクラブへの助成金交付 6 方部 1,100 千円
③高齢者総合相談事業の実施 ア) 高齢者総合相談センターの運営 高齢者総合相談センターの運営事業 (通年) 相談件数 806 件 (前年度比 96 件減) 1. 一般相談 : 687 件 内訳 ・窓口相談 671 件 (前年度比 96 件減) ・巡回相談会 16 件 (" 4 件増) 2. 専門相談 : 119 件 内訳 ・窓口相談 99 件 (前年度比 3 件減) ・巡回相談会 20 件 (" 1 件減) 3. 巡回相談 (再掲) 本宮市、外 11 市町 36 件
イ) 認知症コールセンターの運営 認知症コールセンターの運営事業 (通年) 相談件数 247 件 (前年度比 21 件減) ・電話相談 238 件 (" 18 件減) ・面接相談 9 件 (" 3 件減)
※推進項目に関し、活動推進計画にある事業計画・内容のほかに実施する内容 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会への参加【追加】 第 1 回総会 (7 月 10 日 東京都) 第 2 回総会 (2 月 19 日 東京都) 推進機構実施事業テーマ別会議 (12 月 2 日 東京都) 全推連職員等研修会 (12 月 9 日～11 日 東京都) 北海道・東北ブロック会議 (1 月 22 日～23 日 福島市)

基本目標 3 > 福祉に対する県民の理解と参加の促進

【推進項目 5】ボランティア・住民参加活動

(3) 県民介護講座

実施計画／実施項目／当年度実施内容		
事業報告		
①県民介護講座の実施		
ア) 県民のニーズに対応したプログラムの充実		
初級介護講座 (2 回)		
期日：5 月 31 日	参加者：31 名 (27 名)	※ () 内は前年度実績
期日：11 月 16 日	参加者：15 名 (22 名)	
介護セミナー (介護の日記念フォーラム 2014) (1 回)		
期日：12 月 16 日	参加者：105 名 (前年度：65 名)	
認知症介護セミナー (1 回)		
期日：9 月 21 日	参加者：155 名 (前年度：118 名)	
介護ワンポイント講座 (12 回)		
期日：5 月 17 日	参加者：17 名 (17 名)	※ () 内は前年度実績
6 月 14 日	参加者：39 名 (47 名)	
6 月 28 日	参加者：30 名 (36 名)	
7 月 12 日	参加者：31 名 (35 名)	
8 月 9 日	参加者：30 名 (27 名)	
9 月 13 日	参加者：35 名 (30 名)	
11 月 8 日	参加者：17 名 (30 名)	
12 月 13 日	参加者：33 名 (33 名)	
1 月 10 日	参加者：20 名 (33 名)	
1 月 31 日	参加者：8 名 (23 名)	
2 月 14 日	参加者：22 名 (18 名)	
2 月 28 日	参加者：14 名 (18 名)	
オーダーメイド介護講座 (随時)		
期日：5 月 1 日 (福島介護福祉専門学校①)	参加者：24 名	
5 月 8 日 (福島介護福祉専門学校②)	参加者：22 名	
6 月 4 日 (国際医療・テクノロジー専門学校)	参加者：20 名	
7 月 23 日 (公立学校共済組合福島支部①)	参加者：22 名	
7 月 24 日 (公立学校共済組合福島支部②)	参加者：15 名	
8 月 19 日 (公立学校共済組合福島支部③)	参加者：24 名	
9 月 2 日 (福島県警察学校①)	参加者：36 名	
9 月 9 日 (二本松市立石井小学校 5 学年)	参加者：20 名	
9 月 11 日 (福島県警察学校②)	参加者：29 名	
9 月 30 日 (ポラリス看護学校①)	参加者：20 名	
10 月 1 日 (ポラリス看護学校②)	参加者：20 名	
11 月 6 日 (福島県警察学校③)	参加者：35 名	
11 月 7 日 (福島県警察学校④)	参加者：37 名	
12 月 2 日 (二本松市立北小学校 5 学年①)	参加者：25 名	

12月2日（二本松市立北小学校5学年②）参加者：24名 12月3日（二本松市立北小学校5学年③）参加者：20名 2月26日（福島県警察学校⑤）参加者：18名 2月26日（一般財団法人葉たばこ財団・あだたらふれあいセンター）参加者：10名
介護実技基本講座（12回） 期日：6月7日 参加者：30名（40名） ※（ ）内は前年度実績 6月21日 参加者：26名（31名） 7月5日 参加者：27名（39名） 8月2日 参加者：32名（43名） 8月30日 参加者：32名（27名） 9月27日 参加者：24名（27名） 11月29日 参加者：15名（20名） 12月6日 参加者：15名（29名） 12月20日 参加者：10名（28名） 1月24日 参加者：16名（28名） 2月7日 参加者：13名（21名） 2月21日 参加者：11名（1名）
イ）「認知症キャラバンメイト養成」と県民への正しい知識の普及促進 認知症キャラバン・メイト養成研修（2回） 1. 会津方部（下郷町）会場 期日：10月7日 参加者：33名 2. 中通り（郡山市）会場 期日：10月17日 参加者：144名
認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修（2回） 1. 会津方部（会津若松市）会場 ※（ ）内は前年度実績 期日：6月6日 参加者：33名（25名） 2. 中通り（郡山市）会場 期日：6月12日 参加者：39名（15名）
ウ）地域で開催する介護講座に対する支援の充実 基本目標4 推進項目7 実施計画③「企画力アップ研修」該当 地域介護専門職員研修 9コース 参加者計270名
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 介護研修事業検討委員会 1. 福島県介護研修事業検討委員会 【第1回】 期日：11月27日 内容：平成26年度事業実施中間報告、平成26年度事業（下半期）の実施計画等 【第2回】 期日：3月12日 内容：平成26年度事業実施報告（2月末日現在）、平成27年度事業実施計画（案） 2. 福祉用具・住宅改修研修講師打ち合わせ会 期日：5月8日、5月10日

会議等への出席

1. 一般社団法人福島県介護福祉士会総会並びに記念講演会（4月27日 郡山市）
2. 福島県男女共生センター「未来館フェスティバル実行委員会」（6月～9月 4回 二本松市）
3. 福島県福祉用具・住宅改修普及支援協議会（11月27日、3月12日 二本松市）
4. 国際福祉機器展 H.C.R. 2014（10月1日～2日 東京都）
5. 福祉用具相談・研修機関協議会全国会議（10月30日～31日 東京都）
6. 「職業実践専門課程」教育編成委員会（12月19日、3月9日 郡山市）

基本目標 4 > 福祉サービスの質の向上に向けた支援

【推進項目 6】福祉人材の養成・確保

実施計画／実施項目／当年度実施内容				
事業報告				
①福祉人材養成・確保に関する関係機関との協働				
ア) 無料職業紹介所機能の充実				
求職・求人登録及び職業相談・紹介（随時 通年）				
1. 新規求人件数	2,096 件	(1,903 件)	※（ ）内は前年度実績	
2. 新規求人数	5,547 名	(5,074 名)		
3. 有効求人数	16,415 名	(15,684 名)		
4. 新規求職者数	1,117 名	(1,065 名)		
5. 有効求職者数	5,268 名	(4,444 名)		
6. 就職人数	311 名	(274 名)		
7. 有効求人倍率	3.12 倍	(3.53 倍)		
8. 新規求人倍率	4.97 倍	(4.76 倍)		
福祉の仕事相談会の開催（5 方部）（毎月・隔月 計 48 回）				
相談件数計	93 件	(86 件)	※（ ）内は前年度実績	
・郡山市	（第 4 月曜日）	相談件数： 36 件	(30 件)	
・会津若松市	（第 1 水曜日）	相談件数： 21 件	(29 件)	
・いわき市	（第 2 水曜日）	相談件数： 24 件	(17 件)	
・白河市	（隔月第 2 金曜日）	相談件数： 8 件	(7 件)	
・南相馬市	（隔月第 3 木曜日）	相談件数： 4 件	(3 件)	
福祉人材センター協力指定事業の実施（6 社協）				
1. 指定社協	福島市、郡山市、白河市、会津若松市、南相馬市、いわき市			
2. 指定内容	福祉人材センター事業の広報啓発、求職登録受付など			
インターネットによる職業紹介の実施（随時 通年）				
アクセス数：	71,820 件	（前年度：93,244 件）		
ハローワークにおける相談活動（随時 通年）				
1. 福祉の仕事相談会	計 96 回	336 名	(96 回 365 名)	※（ ）内は前年度実績
ハローワーク二本松	12 回	41 名	(12 回 46 名)	
ハローワーク郡山	12 回	59 名	(12 回 69 名)	
ハローワーク須賀川	12 回	51 名	(12 回 57 名)	
ハローワーク白河	12 回	39 名	(12 回 36 名)	
ハローワーク会津若松	12 回	30 名	(12 回 42 名)	
ハローワーク喜多方	12 回	20 名	(12 回 33 名)	
ハローワーク相双	12 回	35 名	(12 回 31 名)	
ハローワーク平	12 回	61 名	(12 回 51 名)	
2. 就職支援セミナー	計 116 回	896 名	(120 回 1,028 名)	
ハローワーク福島	20 回	189 名	(16 回 188 名)	
ハローワーク二本松	12 回	162 名	(12 回 116 名)	

ハローワーク郡山	12 回	210 名	(12 回 182 名)
ハローワーク須賀川	12 回	250 名	(12 回 145 名)
ハローワーク白河	12 回	152 名	(12 回 123 名)
ハローワーク会津若松	12 回	41 名	(12 回 54 名)
ハローワーク喜多方	12 回	51 名	(12 回 72 名)
ハローワーク相双	12 回	63 名	(12 回 80 名)
ハローワーク平	12 回	162 名	(12 回 68 名)
3. 民間企業・行政等主催就職フェア・セミナー等への出展（相談コーナー）参加 参加回数：15 回 77 名（16 回 70 名）			
「はあとふる・ふくしま」による広報・啓発（毎月（広告）・特集（年 2 回）7 月・2 月）			
7 月号特集：『福祉の職場で人材確保のためにできること』 ～はじめてみませんか？採用と育成につなげる取り組み～			
2 月号特集：「保育士と保育所の橋渡し」～福島県保育士・保育所支援センターの役割～			
電話、ポスター、リーフレット、J R 等媒体掲載等（随時 通年）			
ラジオ番組「福祉のお仕事スタートメッセージ」 5 月～7 月 全 14 回			
福祉啓発ビデオの貸出（随時 通年）			
貸出本数：108 本（前年度：104 本）			
福祉の職場を目指す求職者の意識調査の実施（1 回）			
調査対象：福島県福祉人材センターに登録している求職登録者 ※ただし、在学中の方を除く			
調査内容：福祉の職場への就職を希望する求職者の就職にあたっての意向・就職活動の状況等			
調査期間：平成 26 年 12 月 22 日～平成 27 年 1 月 15 日			
対象者数：537 名			
有効回収数：215 名（回収率：40.4%）			
福祉人材情報システムによる分析（随時 通年）			
毎月、システムから有効求人倍率、新規求人倍率等のデータを抽出・分析している。			
保育士等支援センターの運営			
1. 福島県保育士・保育所支援センター開設等業務		※（ ）内は前年度実績	
①求職者及び求人者に係るコーディネート			
ア）相談支援			
370 件（302 件）			
内訳：求職者 301 件（209 件）			
求人側 53 件（81 件）			
マッチング成功 16 件（12 件）			
イ）求職・求人登録			
求職登録 69 名（54 名）			
求人票提出 101 件（95 件）			
ウ）広報・周知			
・保育士・保育所支援センター広告掲載			
福島民報新聞：5・10・1 月 タイムに広告掲載			
7・10 月 本紙に広告掲載			

福島民友新聞：6・10・2月 タッチに広告掲載

8・12月 本紙に広告掲載

リビング新聞：10月・3月（2回） 広告掲載

・事例集「未来へつながるはじめの一歩」作成・配布（3,000部）

②現状の課題把握等

雇用環境確認（保育所等訪問）

- ・認可保育所 25ヶ所
- ・認可外保育所 2ヶ所
- ・認定こども園 3ヶ所

③就労支援説明会の実施（福祉の職場合同就職説明会と同日開催）

7月12日 会津若松会場 参加者（保育士）：7名（0名）

7月14日 郡山会場 参加者（保育士）：4名（5名）

7月15日 福島会場 参加者（保育士）：9名（5名）

7月24日 いわき会場 参加者（保育士）：1名（1名）

2月11日 郡山会場 参加者（保育士）：2名（2名）

2月28日 福島会場 参加者（保育士）：4名（9名）

（内容）保育所等の職員の体験談、保育所等の事業PR、保育所等の面談コーナー

2. 福島県潜在保育士再就職支援研修業務

①潜在保育士向け研修会の実施

再就職支援セミナー 【1回目】 11月13日 参加者：16名

【2回目】 11月21日 参加者：16名

【職場体験】 参加者：8名（福島・郡山・会津・いわき）

②経営者向け研修会の実施

保育所（園）経営者向けセミナー 2月20日 参加者：32名

合同就職説明会の開催

【第1回】

※（ ）内は前年度実績

共催：福島労働局、各公共職業安定所、介護労働安定センター福島支所

内容：施設面談コーナー、ハローワークコーナー、福祉人材センター、登録・相談コーナー、
介護職就労等相談コーナー

結果：来場者 203名、求人 166ブース（226名、170ブース）

会津若松会場（会津若松ワシントンホテル）

期日：7月12日

結果：来場者 34名、求人 26ブース（22名、20ブース）

郡山会場（ビッグパレットふくしま）

期日：7月14日

結果：来場者 77名、求人 70ブース（145名、69ブース）

福島会場（ホテル福島グリーンパレス）

期日：7月15日

結果：来場者 71名、求人 47ブース（48名、51ブース）

いわき会場（いわき市生涯学習プラザ）

期日：7月24日

結果：来場者 21名、求人 23ブース（11名、30ブース）

【第2回】

共催：福島労働局、各公共職業安定所、介護労働安定センター福島支所

内容：施設面談コーナー、ハローワークコーナー、福祉人材センター、登録・相談コーナー、
介護職就労等相談コーナー

結果：来場者 141 名、求人 119 ブース（77 名、124 ブース）

郡山会場（ビッグパレットふくしま）

期日：2 月 11 日

結果：来場者 64 名、求人 69 ブース（26 名、71 ブース）

福島会場（ホテル福島グリーンパレス）

期日：2 月 28 日

結果：来場者 77 名、求人 50 ブース（51 名、53 ブース）

イ）市町村社協、労働行政との連携強化

福祉人材センター運営委員会の開催

【第 1 回】 期日：11 月 26 日（福島市）

内容：26 年度福祉人材センター事業中間報告、次年度以降の事業展開について

【第 2 回】 期日：3 月 19 日（福島市）

内容：26 年度福祉人材センター事業中間報告、27 年度福祉人材センター事業計画（案）

ネットワーク構築情報会議の開催（1 回 5 月）

期日：5 月 19 日（福島市）

内容：25 年度事業報告、26 年度事業計画、福祉人材センター協力指定事業の進め方について、
福祉人材養成・確保に関する情報交換

②求職者、従事者への支援

ア）学生に対する支援の充実

学生に対する就職動向説明会の開催

期 間：5 月～1 月

学校数：15 校・23 回（高校、専門学校、短期大学、大学、養成機関）（前年度：14 校）

聴講者：1,003 名（前年度：946 名）

啓発資料の作成

1. 「福祉の仕事を最初に考えている人が最初に読むガイド」

作成部数：10,000 部 配布先：各ハローワーク、求職者等

2. 「障がいのある人の生活や仕事をよく知るために」

作成部数：5,000 部 配布先：各ハローワーク、求職者等

3. 「福祉の仕事スタートノート」 ※共同募金配分事業

作成部数：40,000 部 配布先：県内の中学校、市町村教育委員会、関係機関等

4. 「福祉の仕事ガイドブック REAL」

作成部数：40,000 部 配布先：県内の高等学校、市町村教育委員会、関係機関等

5. 「介護の仕事読本（保護者向け）」

作成部数：35,000 部 配布先：県内の高等学校、施設経営社会福祉法人、関係機関等

6. 「福祉の職場に転職した先輩からのスタートメッセージ VOL. 2」

作成部数：2,000 部 配布先：各ハローワーク、求職者等

7. 福祉の職場に転職した先輩からのスタートメッセージ VOL. 3」

作成部数：5,000 部 配布先：各ハローワーク、求職者等

8. 「開拓クリアファイル」

作成部数：2,500 部 配布先：各ハローワーク、求職者等

介護福祉士緊急養成事業	
申請件数	5件 2,500,000円
決定件数	5件 2,500,000円
イ) 求職者の技術向上のための講習会の充実 社会福祉施設職場見学会の実施	
1. 社会福祉施設職場見学会 実施期間：7月～8月 協力施設数：計7コース、9法人14ヶ所 参加者：計71名（前年度51名） 県北コース13名、安達コース13名、県中コース4名、県南コース3名、 会津コース10名、相双コース8名、いわきコース20名	
2. 福祉・介護の職場見学・説明会 期 間：1月26日～3月5日 参加数：5校・53名（中学校2校・23名、高校2校・11名専門学校1校19名） 見学施設：5法人・5ヶ所	
③資格取得支援	
ア) 求職者及び従事者への資格取得支援 介護支援専門員実務研修受講試験の実施（1回）	
期 日	：10月26日
会 場	：福島成蹊高校（福島市）、福島学院大学福島駅前キャンパス（福島市）、 福島県総合社会福祉センター（福島市）、桜の聖母短期大学（福島市）、福島県立医科大学 （福島市）、郡山女子大学（郡山市）、郡山ユラックス熱海（郡山市）
受験申込者	：3,208名（前年度：2,833名）
実受験者数	：2,959名（前年度：2,616名）
合格者数	：495名（前年度：340名）
合格率	：16.7%（前年度：13.0%）
介護支援専門員実務・再・更新研修の開催（2コース 1月～3月）	
期 日	：前期Ⅰ 1月19日～22日 前期Ⅱ 1月27日～30日 後期Ⅰ 2月24日～26日 後期Ⅱ 3月 3日～5日
会 場	：ビッグパレットふくしま（郡山市）
修了者	：666名（前年度：545名）
内 容	：介護保険法令及び関係通知における介護支援専門員の職務、資格等に関する規定に則り利用者の自立支援を図るための内容
介護職員初任者研修事業の実施	
確定件数	29件 修了者数494名 25,110,000円
介護福祉士候補者学習支援事業の実施	
確定件数	21件（157人） 12,714,000円
介護福祉士等修学資金の貸付	
1. 貸付の実施	※（ ）内は前年度実績
貸付申込者数	55名（66名）
貸付決定者数	54名（65名）

内訳：介護福祉士 53 名（64 名） 県内養成校在住 43 名（54 名）、県外養成校在住 10 名（10 名） 社会福祉士 1 名（1 名） 貸付決定額 84,310,000 円（102,170,000 円） 内訳：介護福祉士 82,960,000 円（100,670,000 円） 社会福祉士 1,350,000 円（1,500,000 円） 2. 貸付選考会の開催 【第1回】 5 月 15 日 【第2回】 6 月 24 日 3. 債権管理 総貸付者数 260 名（今年度決定者も含む） ＜貸付中 117 名、返還中 18 名、返還完了 12 名、停止中 3 名、免除 4 名、 （介護従事による）猶予中 97 名、（介護従事以外による）猶予中 9 名＞ 4. 広報の実施 県内高等学校へ案内送付（10 月）	
保育士修学資金の貸付	
1. 貸付の実施 貸付申込者数 21 名（13 名） 貸付決定者数 20 名（12 名） 貸付決定額 30,580,000 円（17,400,000 円） 2. 貸付選考会の開催 【第1回】 5 月 23 日 【第2回】 5 月 28 日 【第3回】 7 月 9 日 3. 債権管理 総貸付者数 32 名（今年度決定者も含む） ＜貸付中 31 名、停止中 1 名＞	※（ ）内は前年度実績
④社会福祉施設等への人材養成・確保支援	
ア) 訪問相談事業	
施設・事業所等訪問事業の実施	
1. 高齢 22 件 2. 障害 9 件 3. 児童 3 件	
イ) 安定的な施設経営とよりよい職場環境づくりへの支援	
雇用関係給付金の取扱事業の実施	
随時	
法人の求人活動支援事業の実施	
確定件数 30 件 13,381,000 円	
新規採用職員住まい支援事業の実施	
確定件数 16 件 16 人 3,173,000 円	

就労支援金事業の実施
確定件数 170 件 486 人 48,600,000 円
福祉の職場内定者導入研修会の開催
内 容：講義・演習「ビジネスマナーについて」、「利用者とのコミュニケーションについて」等 講師：株式会社コンクレティオ 関弘子 氏 発表「福祉・介護の仕事の魅力とやりがい～先輩職員から話を聴く～」 発表者：老人福祉施設職員（4 方部×1 名） 参加者：162 名（4 方部合計） 〔各会場〕・福島会場（県総合社会福祉センター） 期日：3 月 11 日 参加者：44 名 ・いわき会場（いわき市生涯学習プラザ） 期日：3 月 12 日 参加者：33 名 ・郡山会場（郡山ビューホテルアネックス） 期日：3 月 16 日 参加者：50 名 ・会津会場（会津若松ワシントンホテル） 期日：3 月 17 日 参加者：38 名
中堅介護職員就労支援事業の実施
確定件数 1 件 1 人 400,000 円
実務者研修に係る代替職員等確保事業の実施【新規】
確定件数 1 件 1 人 582,400 円
労務診断等事業（アドバイザー派遣事業）の実施
1. 労務診断事業：7 法人 2. 職場環境向上研修事業：10 法人
福祉人材確保セミナーの実施
期日：3 月 2 日 参加者：110 名（ビックパレットふくしま）
ウ）被災地における福祉・介護人材確保
県外からの福祉・介護人材確保事業の実施【新規】
1. 貸付の実施 （1）貸付申込者数 31 名 （2）貸付決定者数 26 名 （3）貸付決定額 7,800,000 円 2. 交通費助成の実施 （1）助成決定者数 20 名 （2）助成決定額 660,820 円 3. 県内法人等訪問 39 カ所 4. 県外養成校等訪問 94 カ所 5. 就職フェアの実施 （1）就職フェア 参加者 992 名 東京会場 647 名 仙台会場 345 名 （2）他県の就職フェア（相談コーナー）への出展 6 回 相談者数 41 名

6. 施設見学会の実施 参加者 37名

いわきコース 8名 南相馬コース 13名

飯館・南相馬コース 12名 田村コース 4名

7. 調査の実施

(1) 相双地域等における介護保険施設等の介護職員募集状況調査

調査数：700ヵ所 回答数：198ヵ所（回収率：28.2%）

(2) 県外からの福祉・介護人材に対する奨学金貸付事業に関する対象者調査

調査数：710ヵ所 回答数：217ヵ所（回収率：30.6%）

(3) 相双地域等の介護保険施設等における介護職員の採用計画調査

調査数：710ヵ所 回答数：158ヵ所（回収率：22.3%）

8. 啓発資料等の作成

(1) 一般向けポスター（1,900部）・学生向けポスター（2,200部）

(2) 一般向けパンフレット（28,000部）・学生向けパンフレット（37,000部）

(3) 県外避難者向けパンフレット（25,000部）

(4) 駅掲示用ポスター（440部）

(5) 介護の福祉読本（15,000部）

(6) 開拓クリアファイル（2,500部）

(7) 就職した方の紹介ニュースレター（8名、ホームページに掲載）

(8) 介護職募集プロモーションビデオ（ホームページに掲載）

(9) 相双地域等福祉施設検索システム（ホームページに掲載）

エ) 社会福祉施設・養成校との連携

高等学校と社会福祉施設等との情報交換会並びに施設見学会

内容：施設見学（情報交換会場の施設）、情報交換（進路動向（進学及び就職）について、職員の採用、育成方針等についてを協議）

1. 県北地区 3月5日 特別養護老人ホーム聖・輝きの郷（福島市）

参加：高校5校

2. 県中地区 3月5日 特別養護老人ホームうねめの里（郡山市）

参加：高校6校

3. 県南地区 3月4日 特別養護老人ホームしらかわの里（白河市）

参加：高校3校

4. 会津地区 3月6日 特別養護老人ホーム会津敬愛苑（会津若松市）

参加：高校2校

5. 相双地区 3月4日 特別養護老人ホーム福寿園（南相馬市）

参加：高校3校

6. いわき地区 3月6日 地域密着型特別養護老人ホーム寿楽（いわき市）

参加：高校4校

基本目標 4 > 福祉サービスの質の向上に向けた支援

【推進項目 7】社会福祉従事者の資質向上

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事業報告

①ニーズに応じた研修の実施

ア) 研修ニーズに応じた研修体系・内容の見直し

福祉職員生涯研修課程(全社協開発)および施設種別や職種に応じた課題別による研修の実施

1. 福祉施設職員キャリアパス対応生涯研修課程

- | | |
|--|---------------------|
| (1) 初任者研修 (7 回) | 359 名 (県総合社会福祉センター) |
| (2) 中堅職員研修 (5 回) | 283 名 (県総合社会福祉センター) |
| (3) チームリーダー研修 (2 回) | 119 名 (県総合社会福祉センター) |
| (4) 管理職員研修 | 46 名 (県総合社会福祉センター) |
| (5) 初任者研修講師打合せ会の開催 (6 月 16 日 県総合社会福祉センター) | |
| (6) 中堅職員研修講師打合せ会の開催 (5 月 12 日 県総合社会福祉センター) | |
| (7) チームリーダー研修講師打合せ会の開催 (8 月 1 日 県総合社会福祉センター) | |
| (8) 講師打合せ全体会の開催 (3 月 16 日 県総合社会福祉センター) | |

2. 現任研修

- | | |
|----------------------|---------------------|
| (1) 認知症高齢者対応研修 | 190 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (2) 老人福祉施設職員研修Ⅰ | 146 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (3) 老人福祉施設職員研修Ⅱ | 169 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (4) 障害者福祉施設職員等基礎研修 | 137 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (5) 障害者福祉施設職員研修 | 55 名 (県総合社会福祉センター) |
| (6) 児童福祉施設職員研修 | 16 名 (県総合社会福祉センター) |
| (7) 児童厚生員・放課後児童指導員研修 | 34 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (8) 社会福祉施設看護等職員研修 | 157 名 (ビッグパレットふくしま) |
| (9) 社会福祉施設栄養士研修 | 139 名 (ビッグパレットふくしま) |
| (10) 保育所新任保育士研修 | 139 名 (ウィル福島) |
| (11) 保育所保育士専門研修 | 84 名 (ウィル福島) |
| (12) 保育所給食関連研修 | 96 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (13) 保育所指導管理者研修 | 63 名 (郡山ユラックス熱海) |

3. 訪問介護員現任研修

- | | |
|----------------------|---------------------|
| (1) 新任訪問介護員研修 | 116 名 (ビッグパレットふくしま) |
| (2) 訪問介護員テーマ別技術向上研修Ⅰ | 131 名 (ビッグパレットふくしま) |
| (3) 訪問介護員テーマ別技術向上研修Ⅱ | 100 名 (ビッグパレットふくしま) |
| (4) 訪問介護員適正実施研修Ⅰ | 127 名 (ビッグパレットふくしま) |
| (5) 訪問介護員適正実施研修Ⅱ | 93 名 (ビッグパレットふくしま) |

4. 法人・施設等役職員研修

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 社会福祉法人理事研修 | 133 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (2) 社会福祉法人監事研修 | 76 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (3) 社会福祉法人事務長等研修 | 120 名 (郡山ユラックス熱海) |

5. 課題別専門分野研修

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| (1) 職場研修担当職員研修 | 57 名 (県総合社会福祉センター) |
| (2) 職場研修担当職員フォローアップ研修 | 21 名 (県総合社会福祉センター) |
| (3) 職場におけるメンタルヘルス研修 | 80 名 (県総合社会福祉センター) |

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| (4) 広報講習会 | 47 名 (県総合社会福祉センター) |
| (5) 主任児童委員研修 I | 203 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (6) 主任児童委員研修 II | 131 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (7) 介護福祉士受験準備講習会 (講義) | 193 名 (郡山ユラックス熱海) |
| (8) 介護福祉士受験準備講習会 模擬試験 | 127 名 (郡山ユラックス熱海) |

福祉介護人材定着促進事業の実施

1. キャリアパス制度理解研修 117 名 (郡山ユラックス熱海)
2. キャリアパス制度導入研修 (会津方部) 6 名 (会津アピオ)
(いわき方部) 9 名 (いわき・ら・ら・ミュウ)
(郡山方部①) 36 名 (ビッグパレットふくしま)
(福島方部) 24 名 (ウィル福島)
(郡山方部②) 75 名 (ビッグパレットふくしま)
3. キャリアパス再構築研修 (会津方部) 8 名 (会津アピオ)
(いわき方部) 16 名 (いわき市生涯学習プラザ)
(福島方部) 35 名 (県総合社会福祉センター)
4. 「キャリアパス制度の構築に関するアンケート」の実施
期間: 10 月 15 日～10 月 30 日
対象: 県内の社会福祉施設・事業所を運営する社会福祉法人 (222 法人)
回答: 153 法人 (回答率 68.9%)
5. 介護プリセプター先進事例研修 129 名 (県農業総合センター)
6. 介護プリセプター導入研修 (会津方部) 17 名 (会津アピオ)
(いわき方部) 10 名 (いわき・ら・ら・ミュウ)
(福島方部) 32 名 (県総合社会福祉センター)
(郡山方部) 94 名 (ビッグパレットふくしま)
7. 介護プリセプター模擬研修 (会津方部) 17 名 (会津アピオ)
(福島方部) 41 名 (県総合社会福祉センター)
(いわき方部) 17 名 (いわき・ら・ら・ミュウ)
8. 「介護プリセプターに関するアンケート」の実施
期間: 5 月 9 日～5 月 23 日
対象: 県内の養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者福祉サービス事業所 (入所系) 等を運営する社会福祉法人 (111 法人)
回答: 93 法人 (回答率 83.8%)
9. 介護プリセプター検討・普及委員会の開催
 - 【第 1 回】 期日: 5 月 28 日 (県総合社会福祉センター)
内容: 委員長・副委員長の互選、介護プリセプターに関するアンケートについて、介護プリセプター先進事例研修について
 - 【第 2 回】 期日: 8 月 8 日 (県農業総合センター)
内容: 介護プリセプターに関するアンケート調査結果 (報告)、介護プリセプター導入・模擬研修について
 - 【第 3 回】 期日: 12 月 12 日 (県総合社会福祉センター)
内容: 介護プリセプターに関する研修報告、介護プリセプター導入研修について
 - 【第 4 回】 期日: 3 月 9 日 (ビッグパレットふくしま)
内容: 次年度事業について

イ) 各種別部会・協議会との連携の充実 社会福祉研修事業運営委員会の開催	
期日：3月16日（県総合社会福祉センター） 内容：委員長の互選、26年度社会福祉研修事業実施状況報告、27年度社会福祉研修事業実施計画（案）	
②生涯研修及び職場内研修の充実 ア) 指導者の継続的養成・確保 福祉職員キャリアパス対応生涯研修指導者養成の受講	
全社協中央福祉学院主催「福祉職員生涯研修指導者養成研修」の受講 期 日：4月18日～20日 会 場：中央福祉学院「ロフォス湘南」 派遣者：3名	
イ) 職場内研修支援の充実 各社会福祉施設等職場内研修指導者派遣の実施	
1. 特別養護老人ホーム伊達すりかみ荘（6月25日 接遇マナー研修） 2. 磐梯町保健医療福祉センター（11月10日、11月12日 接遇マナー研修）	
③地域介護専門職員研修の実施 ア) 研修内容の充実	
地域介護専門職員研修（9コース）	
（1）地域アセスメント研修	23名（県男女共生センター）
（2）企画力アップ研修	24名（県男女共生センター）
（3）相談援助面接研修（初級編・第1回）	63名（県男女共生センター）
（4）相談援助面接研修（初級編・第2回）	56名（県男女共生センター）
（5）相談援助面接研修（中級編）	28名（県男女共生センター）
（6）相談援助面接研修（指導・実践編）	6名（県男女共生センター）
（7）福祉用具・住宅改修研修	11名（県男女共生センター）
（8）排泄ケア研修（在宅編）	18名（県男女共生センター）
（9）排泄ケア研修（施設編）	41名（県男女共生センター）
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容	
介護職員等による喀痰吸引等基本研修の開催	
福島県喀痰吸引等基本研修	104名（県男女共生センター）

基本目標 4 > 福祉サービスの質の向上に向けた支援

【推進項目 8】社会福祉従事者の福利厚生推進

実施計画／実施項目／当年度実施内容				
事業報告				
① 社会福祉従事者施設団体職員共済事業の運営				
ア) 資産の外部委託運用				
資産の外部委託運用（随時・通年）				
三菱UFJ信託銀行からの運用状況の受理				
(1) 平成 25 年度第 4 四半期分（5 月 7 日）				
(2) 平成 26 年度第 1 四半期分（8 月 5 日）				
(3) 平成 26 年度第 2 四半期分（11 月 4 日）				
(4) 平成 26 年度第 3 四半期分（2 月 5 日）				
2. 外部受託機関の評価				
5 年毎に行う外部受託機関の運用状況評価を実施し、引き続き三菱UFJ信託銀行へ受託することとなった。				
契約者への運用状況の報告（毎月 1 回）				
毎月 1 回発送				
推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容				
運営委員会の開催（4 回 5、9、12、3 月）				
【第 1 回】 期日：5 月 22 日				
内容：資産運用状況について				
平成 25 年度事業報告について				
平成 25 年度収入支出決算報告について				
【第 2 回】 期日：9 月 26 日				
内容：資産運用状況について				
平成 26 年度事業中間報告について				
平成 26 年度第 1 次収入支出補正予算（案）について				
【第 3 回】 期日：12 月 18 日				
内容：委員長・副委員長の選任について				
資産運用状況について				
平成 26 年度事業中間報告について				
平成 26 年度第 2 次収入支出補正予算（案）について				
資産運用先の選定について				
【第 4 回】 期日：3 月 19 日				
内容：資産運用状況について				
平成 26 年度第 4 次収入支出補正予算（案）について				
平成 27 年度事業計画（案）・当初予算（案）について				
各種給付事業の実施（毎月 1 回決定・送金）				
1. 退会給付金	1,182 件	1,224,598 千円	(1,078 件 1,060,864 千円)	※ () 内は前年度実績
2. 結婚祝金	264 件	5,280 千円	(282 件 5,640 千円)	
3. 出産祝金	449 件	4,540 千円	(402 件 4,040 千円)	
4. 弔慰給付金	15 件	300 千円	(12 件 240 千円)	

5. 傷病見舞金	17 件	170 千円 (	10 件	100 千円)
6. 災害見舞金	1 件	20 千円 (	6 件	120 千円)
資金貸付事業の実施 (毎週 1 回決定・送金)				
1. 一般資金	51 件	33,040 千円 (52 件	34,100 千円)	※ () 内は前年度実績
2. 住宅資金	3 件	10,000 千円 (	0 件	0 千円)
事務説明会 (新任) の実施 (1 回 7 月)				
期日 : 7 月 17 日 参加者 : 38 名 (福島県男女共生センター)				
パンフレットの改訂・配布				
5,000 部作成・配布 (3 月)				
②社会福祉施設職員等退職手当共済事業の事務受託				
ア) 受託事務の実施				
受託団体事務打合せへの参加				
期日 : 8 月 29 日 (東京都)				
③福利厚生センター事業の充実				
ア) 充実した福利厚生サービスの提供				
企画・情報会議の開催 (2 回 8、3 月)				
【第 1 回】 期日 : 8 月 29 日				
内容 : 平成 25 年度福利厚生センター事業報告、ディナーパーティー実施について、次年度の会員交流事業について				
【第 2 回】 期日 : 3 月 9 日				
内容 : 平成 27 年度福利厚生センター事業計画 (案)、平成 27 年度旅行企画の採択				
会員交流事業の実施 (10 回 6~12 月)				
1. シルク・ドゥ・ソレイユ「オーヴォ」鑑賞ツアー				
期日 : 6 月 20 日 参加者 : 79 名 (申込者 88 名)				
2. 東京ドームで観戦! 巨人 v s 中日ツアー				
期日 : 7 月 5 日 参加者 : 69 名				
3. ディズニー・オン・アイス仙台公演ツアー				
期日 : 7 月 12 日 参加者 : 61 名				
4. 夏休み旅行の決定版! 横浜・東京 2 日間ツアー				
期日 : 7 月 26~27 日 参加者 : 45 名				
5. 日帰りリフレッシュプラン				
期間 : 7 月 16 日~12 月 23 日 利用者 : 163 名				
会場 : ホテルグランデコ、空の庭プチホテル、羽鳥湖高原レジーナの森				
6. 「ハロウィンを満喫! ディズニーリゾート 2 日間」				
期日 : 9 月 18 日~19 日 参加者 : 45 名				
7. 「楽天イーグルス VS 日本ハム 団体観戦」				
期日 : 9 月 20 日 参加者 : 83 名				
8. 「世界が恋する KARUIZAWA~自分へのご褒美 2 日間~」				
期日 : 10 月 10~11 日 参加者 : 34 名				
9. ディナーパーティー				
期日 : 10 月 31 日~11 月 21 日 参加者 : 431 名 (申込者 673 名)				

10. The 歌舞伎 ～日本の伝統文化にふれる東京日帰りの旅～ 期日：12月20日 参加者：70名（申込者234名）
家庭用常備薬の斡旋（7～12月）
【第1回】 実施時期：6月6日～30日 申込人数：1,121名 【第2回】 実施時期：12月16日～26日 申込人数：845名
福利厚生センター全国会議への参加 期日：6月20日（東京都）
イ）未加入法人への加入促進 未加入法人への加入促進（随時 通年） 未加入法人への加入促進チラシ配布（6月、12月） 共済事業事務説明会における福利厚生センターの事業説明（7月12日）

基本目標 5 > 福祉力向上にむけての協働・支援
【推進項目 9】市町村社会福祉協議会との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容
事業報告
①市町村社協への経営支援 ア) 会計・法律・労務等に対応した研修・会議・相談事業の強化 経営・財務、労務管理研修会 市町村社会福祉協議会 経営・財務研修会 期日：11 月 27 日 受講者：76 名（県総合社会福祉センター） 内容：新会計基準に対応した決算処理等について
相談・個別訪問事業の実施（通年） 法人運営・体制・会計事務について 2 回
②市町村社協連絡協議会活動の充実 ア) 市町村社協連絡協議会の自主的活動の充実 会長会（全体会）の開催 【第 1 回】 期日：6 月 6 日（県青少年会館） 内容：25 年度事業実施報告、26 年度事業実施計画（案）、あんしんサポート事業・成年後見制度について、避難・受入社協における状況報告 【第 2 回】 期日：3 月 5 日（ビッグパレットふくしま） 内容：26 年度活動方針に基づく取り組み状況、27 年度活動方針（案）について、役員改選について
事務局長会役員会の開催 期日：11 月 28 日（ビッグパレットふくしま） 内容：平成 26 年度事業計画活動方針 事務局長会地区連絡会の持ち方等について 市町村社協連絡協役員改選に伴う各支部幹事選出の考え方について 生活困窮者自立支援事業について 第 24 回全国ボランティアフェスティバルふくしまについて
地区連絡会の開催 事務局長会及び専門委員会方部別会議の開催 県北方部：1 月 22 日（二本松市） 県中方部：12 月 12 日（郡山市） 県南方部：1 月 19 日（白河市） 会津・南会津方部：1 月 8 日（会津若松市） 相双方部：1 月 16 日（福島市） いわき方部：2 月 24 日（いわき市）
専門委員会の開催 【第 1 回】 期日：8 月 12 日（県総合社会福祉センター） 内容：第 24 回全国ボランティアフェスティバルふくしまについて

災害協定書細則等の作成検討について 社協職員研修体系・カリキュラムの検討について 【第2回】 期日：10月14日（県総合社会福祉センター） 内容：災害協定書細則等の作成検討について 社協職員研修体系・カリキュラムの検討について 【第3回】 期日：2月6日（ビッグパレットふくしま） 内容：市町村社協連絡協議会事務局長地区連絡会並びに専門委員会方部会議の報告 論点整理
社会福祉トップセミナーの開催 期日：3月5日 参加者：135名（ビッグパレットふくしま） 内容：新たな支えあい社会の構築に向けて
③市町村社協における人材養成・研修の推進 ア）専門性の高い内容・新たな福祉課題へ対応していくための研修実施 社協職員研修（基礎編） 期日：6月23日 参加者：48名（県総合社会福祉センター） 内容：社会福祉協議会の基本理解と社協職員の行動原則ほか
社協職員研修（テーマ別研修）の開催 ※コミュニティソーシャルワーク研修会と併催 期日：3月2日 参加者：38名（ビッグパレットふくしま） 内容：会議上手になるファシリテーションについて学ぼう！
社会福祉協議会職員研修（管理編）の開催 期日：2月18日 参加者：24名（県総合社会福祉センター） 内容：社協における人材育成の重要性と職場研修の役割と課題ほか
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 市町村社協職員便覧の作成 市町村社協職員便覧の作成・配布 部数：600部（配布先）市町村社協、県社会福祉課、各保健福祉事務所等
全国会議・ブロック会議等への参加 都道府県・指定都市社協部・課・所長会議（4月24～25日 東京都） 社会福祉協議会活動全国会議（6月12～13日 東京都） 都道府県・指定都市社協臨時部・課長会議（2月9日 東京都） 北海道・東北ブロック地域福祉担当部課長会議（2月19日～20日 岩手県）

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事業報告

①社会福祉施設等との連携

ア) 部会・協議会活動の充実

老人福祉施設協議会活動の充実

1. 総会の開催

【第1回】期日：4月30日（郡山市）

【第2回】期日：2月20日（石川町）

2. 監事会の開催

期日：4月30日（郡山市）

3. 正副会長会議の開催

期日：10月20日（飯舘村）

4. 部会長・副部会長会議の開催

期日：11月13日（郡山市）

5. 役員会の開催

【第1回】期日：4月15日（福島市）

【第2回】期日：6月12日（福島市）

【第3回】期日：12月9日（福島市）

【第4回】期日：1月30日（福島市）

6. 東北ブロック老人福祉施設研究会実行委員会（研究・研修委員会）

【第5回】期日：5月9日（郡山市）

【第6回】期日：7月11日（郡山市）

【第7回】期日：8月30日（郡山市）

研究部会打合せ会：8月30日（郡山市）

7. 東北ブロック老人福祉施設研究会の開催

期日：9月3日～4日 参加者 1,048名（郡山市）

8. 研修会の開催

(1) 在宅部会職員研修会「介護送迎担当者安全運転講習」

会津地区 6月27日 参加者 11名（会津若松市）

県北地区 9月12日 参加者 18名（福島市）

県中地区 10月30日 参加者 16名（郡山市）

(2) 在宅部会研修会

期日：12月4日～5日 参加者 65名

(3) 施設長研修会

期日：2月19日～20日 参加者 96名

(4) 施設部会研修会

①生活相談員研修会 期日：11月4日 参加者 108名

②機能訓練担当者研修会 期日：10月23日～24日 参加者 67名

③給食担当者研修 期日：8月7日～8日 参加者 85名

④医務担当職員研修会 期日：10月16日～17日 参加者 62名

⑤介護職員研修会（4年未満） 期日：7月17日～18日 参加者 99名

⑥主任介護職員研修会 期日：10月8日～9日 参加者 85名

⑦施設介護支援専門員研修会 期日：10月27日～28日 参加者 94名

- ⑧事務担当職員研修会 期日：11月14日 参加者 89名
 ⑨介護職員研修会（4年以上） 期日：11月25日～26日 参加者 55名

9. 要望活動

【第1回作業部会】期日：9月2日（福島市）

【第2回作業部会】期日：9月19日（福島市）

県に対する要望書の提出及び県担当課との懇談会 期日：10月8日（福島市）

10. 広域避難訓練の実施

期日：11月21日 参加者 60名（会津美里町）

11. 相双地域等介護職員応援事業への協力 ※別掲

障がい児者福祉施設協議会活動の充実

1. 総会の開催

期日：4月22日（郡山市）

2. 監事会の開催

期日：4月22日（郡山市）

3. 役員会の開催

【第1回】期日：6月23日（郡山市）

【第2回】期日：7月28日（郡山市）

【第3回】期日：3月17日（郡山市）

4. 調査広報委員会

【第1回】期日：5月19日（郡山市）

【第2回】期日：7月14日（郡山市）

【第3回】期日：11月25日（郡山市）

5. 健康管理等企画運営委員会の開催

【第1回】期日：5月30日（郡山市）

【第2回】期日：7月25日（郡山市）

【第3回】期日：9月9日（郡山市）

6. 研修委員会の開催

【第1回】期日：6月10日（郡山市）

【第2回】期日：7月18日（郡山市）

7. 調査の実施

「各施設（事業所）における疾病の傾向及び取り組みに関するアンケート調査」

調査期間：8月8日～8月29日

調査対象：105施設（会員施設）

回答施設：82施設（78.1%）

「人材確保・定着・養成等に係る意識調査」

調査期間：9月25日～10月17日

調査対象：県内中学校 224校、県内養成施設学生 14校 674名、会員施設 105施設

回答数：県内中学校 152校（67.9%）、県内養成施設学生 8校（57.1%） 211名（31.1%）、

会員施設 75施設（71.4%）

8. 研修会の開催

（1）送迎担当者安全運転講習会（県内1方部）

期日：6月14日（白河市） 参加者 15名

（2）障がい児者福祉施設協議会研修

期日：9月24日（郡山市） 参加者 60名

（3）健康管理等担当職員研修「てんかん研修」

期日：12月10日（郡山市） 参加者 57名

9. 避難及び被災福祉施設への訪問、助成金の交付
 社会福祉法人友愛会（8月5日）
 社会福祉法人福島県福祉事業協会（8月6日）
 特定非営利活動法人アクセスホームさくら（8月6日）
10. 東京電力福島第一原子力事故に伴う原子力損害賠償に関する要望書提出（再掲）
 期日：7月18日（福島市）
11. 東京電力福島第一原子力事故に伴う原子力損害賠償に関する要望事項への回答（再掲）
 期日：10月2日（福島市）

地域包括・在介協議会活動の充実

1. 総会の開催
 期日：5月22日（郡山市）
2. 監事会の開催
 期日：5月22日（郡山市）
3. 役員会の開催
 【第1回】期日：7月15日（郡山市）
 【第2回】期日：3月11日（郡山市）
4. 研修委員会の開催
 【第1回】期日：5月12日（郡山市）
 【第2回】期日：7月15日（郡山市）
 【第3回】期日：3月11日（郡山市）
5. 広報委員会の開催
 【第1回】期日：10月29日（二本松市）
 【第2回】期日：2月3日（二本松市）
6. 研修会の開催
 （1）初任者研修 期日：6月4～5日（郡山市） 参加者 65名
 （2）現任者研修 期日：10月31日（郡山市） 参加者 77名
7. 東北ブロック
 （1）地域包括・在宅介護支援センター協議会会長等合同会議
 【第1回】期日：7月2日（岩手県盛岡市）
 【第2回】期日：11月13日（岩手県盛岡市）
 【第3回】期日：3月3日（岩手県盛岡市）
 （2）地域包括・在宅介護支援センター研修会
 期日：11月13～14日（岩手県盛岡市）

児童福祉施設部会の充実

1. 総会の開催
 期日：5月23日（福島市）
2. 監事会の開催
 期日：5月23日（福島市）
3. 定例会の開催
 【第1回】期日：8月8日（福島市）
 【第2回】期日：2月6日（福島市）
4. 職員研究会活動
 （1）職員研究会総会（4月17日 郡山市）
 （2）第1回各種行事委員会（5月9日 郡山市）
 （3）第1回心理職員等研修会（5月29日 福島市）

- (4) 第1回調査広報委員会 (6月5日 郡山市)
- (5) 事務職員等研修会 (8月26日 福島市)
- (6) 第1回職員研修会 (9月9日 いわき市)
- (7) 第2回心理職員等研修会 (9月18日 福島市)
- (8) 第2回職員研修会 (10月24日 白河市)
- (9) 給食担当職員等研修会 (11月6日 福島市)
- (10) 施設視察研修会 (11月13～14日 茨城県高萩市、水戸市)
- (11) 第2回調査広報委員会 (11月20日 郡山市)
- (12) 第3回心理職員等研修会 (2月18日 福島市)
- (13) 第3回調査広報委員会 (2月19日 郡山市)
- (14) 第2回各種行事委員会 (2月20日 郡山市)
- (15) 第3回職員研修会 (3月5日 会津若松市)
- (16) 職員研究会役員会 (3月3日 郡山市)
- 5. 東北ブロック児童養護施設専門職等研修会
期日：10月1～2日 (福島市) 参加者 111名
- 6. 福島県選出自由民主党国会議員への要望活動
期日：9月17日 (東京都)
- 7. 児童福祉論集「まなざし第38巻」の発行
- 8. 第34回児童福祉施設交歓球技大会 (9月28日 福島市)
- 9. 東京電力福島第一原子力事故に伴う原子力損害賠償に関する要望書提出 (再掲)
期日：7月18日 (福島市)
- 10. 東京電力福島第一原子力事故に伴う原子力損害賠償に関する要望事項への回答 (再掲)
期日：10月2日 (福島市)
- 11. 聖マリア児童福祉基金による助成
 - (1) 運営委員会 (3月23日 福島市)
 - (2) 助成対象児童の決定
高校進学等 42名、短大・大学等進学 3名

母子生活支援施設部会の充実

- 1. 総会の開催
期日：5月14日 (福島市)
- 2. 監事会の開催
期日：5月14日 (福島市)
- 3. 東京電力福島第一原子力事故に伴う原子力損害賠償に関する要望書提出 (再掲)
期日：7月18日 (福島市)
- 4. 東京電力福島第一原子力事故に伴う原子力損害賠償に関する要望事項への回答 (再掲)
期日：10月2日 (福島市)

社会福祉法人経営者協議会活動の充実

- 1. 総会の開催
 - 【第1回】期日：6月27日 (福島市)
 - 【第2回】期日：3月2日 (郡山市)
- 2. 社会福祉セミナー
 - 【第1回】期日：6月27日 (福島市) 参加者 74名
 - 【第2回】期日：12月8日 (福島市) 参加者 123名
 - 【第3回】期日：3月2日 (郡山市) 参加者 110名

3. 正・副会長会議の開催

【第1回】期日：6月19日（郡山市）

【第2回】期日：10月22日（郡山市）

【第3回】期日：2月24日（福島市）

4. 理事会の開催

【第1回】期日：6月19日（郡山市）

【第2回】期日：10月2日（福島市）

【第3回】期日：2月24日（福島市）

5. 監事会の開催

期日：5月14日（福島市）

6. 選考委員会の開催

期日：6月3日（福島市）

7. 全国大会実行委員会

【第1回】期日：10月21日（郡山市）

【第2回】期日：11月4日（郡山市）

8. 全国経営協ブロック会議への参加

期日：7月29日（宮城県仙台市）

9. 北海道・東北ブロックセミナーへの参加

期日：11月27～28日（宮城県仙台市）

10. 社会福祉法人経理担当職員研修

期日：8月29日（郡山市） 参加者 99名

11. 福島県選出自由民主党国会議員への社会福祉法人非課税にかかる要望活動

期日：9月12日（東京都）

12. 福島県選出自由民主党国会議員への社会福祉法人に対する法人税課税の回避に伴う御礼

期日：2月6日（東京都）

13. 全国経営協への相双地域等介護職員応援事業継続にかかる協力依頼

期日：2月6日（東京都）

14. 東京電力福島第一原子力事故に伴う原子力損害賠償に関する要望書提出

期日：7月18日（福島市）

15. 東京電力福島第一原子力事故に伴う原子力損害賠償に関する要望事項への回答

期日：10月2日（福島市）

16. 第33回全国社会福祉法人経営者大会（全国社会福祉法人経営者協議会と共催）

期日：11月5日～6日（郡山市） 参加者：1,127名

17. 社会貢献（地域貢献）事業に関するアンケート調査

調査期間 平成27年1月19～30日

調査対象 会員152法人

回収率 61.2%（93法人／152法人）

18. 福島県社会福祉法人経営者協議会・青年部会全体会

【第1回】期日：9月25日（福島市）

【第2回】期日：2月9日（福島市）

19. 福島県社会福祉法人経営者協議会・青年部会役員会

【第1回】期日：1月29日（郡山市）

20. 福島県社会福祉法人経営者協議会・青年部会会議

【第1回】期日：12月17日（郡山市）

21. 福島県社会福祉法人経営者協議会・青年部会設立セミナー

期日：11月4日（郡山市） 参加者 74名

22. 福島県社会福祉法人経営者協議会・青年部会（東日本大震災）被災地支援活動 （社会福祉法人災害支援協力隊と協働） 期日：11月22日（新地町） 23. 全国経営青年会 北海道・東北ブロック総会並びに秋田県経営青年会設立記念セミナー 期日：2月13日（秋田県秋田市） 24. 山形県経営青年委員会発足会並びに記念講演 期日：3月3日（山形県山形市）
イ）課題把握と情報提供 避難施設の情報把握と課題整理
1. ワークセンターさくら訪問（8月5日 群馬県） 2. 原町共生授産園、アクセスホームさくら訪問（8月6日）
ウ）社会福祉関係団体との連携・協働 社会福祉関係団体との連携・協働
児童福祉施設部会と福島県里親連合会との懇談会の開催 期日：8月8日
②社会福祉事業等経営相談支援事業 ア）相談支援体制の充実 経営専門相談事業の実施（再掲）
1. 会計経営相談 44件（52件） ※（ ）内は前年度実績 2. 法律相談 3件（0件） 3. 労務相談 2件（1件）
イ）相談内容の整理分析 経営支援事業の実施
経営専門相談事業及び一般相談事業の相談内容について、毎月整理、分析を行った。
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 社会福祉従事者各種研修事業の実施（再掲）
1. 認知症高齢者対応研修 190名（郡山ユラックス熱海） 2. 職場におけるメンタルヘルス研修 80名（県総合社会福祉センター） 3. 広報講習会 47名（県総合社会福祉センター）
相双地域等介護職員応援事業の実施
1. 応援職員受け入れ施設 特別養護老人ホーム 長寿荘（南相馬市） 特別養護老人ホーム 福寿園（南相馬市） 特別養護老人ホーム 竹水園（南相馬市） 介護老人保健施設 長生院（南相馬市） 特別養護老人ホーム 花ぶさ園（広野町） 老人保健施設 シーサイドパインビレッジ（いわき市） 2. 応援職員の状況 都道府県：33都道府県 北海道・青森県・秋田県・山形県・福島県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・富山県 石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・兵庫県

和歌山県・岡山県・広島県・香川県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県
宮崎県・鹿児島県・沖縄県

法人数：132 法人

延べ人数：202 名

教育職員免許取得介護等体験事業（随時 通年）

体験受入施設：54 施設

体験大学・学生数：23 大学・373 名

基本目標 5 > 福祉力向上に向けての協働・支援
 【推進項目 11】 民生委員・児童委員との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
① 民生委員・児童委員活動の支援	
ア) 困難ケースに対応した研修の企画、実施	
相談援助研修会の開催（3回 1日・3方部）	
【第1回】	期日：8月26日 参加者：284名（郡山ユラックス熱海）
【第2回】	期日：8月27日 参加者：266名（会津アピオ）
【第3回】	期日：8月29日 参加者：188名（福島グリーンパレス）
民生児童委員協議会会長研修の開催（1回 2日）	
期日：9月16～17日 参加者：198名	
中堅民生委員研修の開催（1回 1日・3方部）	
【県北方部】	期日：10月10日 参加者：137名（ウィル福島）
【県中・県南方部】	期日：10月2日 参加者：230名（ビッグパレットふくしま）
【会津・南会津方部】	期日：10月16日 参加者：148名（会津アピオ）
新任民生委員研修の開催（1回 1日）	
期日：12月10日 参加者：69名	
民生児童委員メンタルヘルス研修の開催（5回 1日・5方部）	
【県北方部】	期日：3月19日 参加者：118名（エルティ ウェディング・パーティー エンボリアム）
【県中・県南方部】	期日：1月23日 参加者：61名（ビッグパレットふくしま）
【会津方部】	期日：2月13日 参加者：94名（会津アピオ）
【相双方部】	期日：2月20日 参加者：157名（鹿島農村環境改善センター）
【会津方部】	期日：3月10日 参加者：175名（いわきワシントンホテル椿山荘）
イ) 県民児協・重点活動方策への協力	
市町村民児協活動支援（24回程度）	
1. 檜葉町民生児童委員協議会 5 月期定例会（5 月 13 日）	
2. 郡山市民生児童委員協議会連合会（6 月 2 日）	
3. いわき市小名浜地区第五方部民生児童委員協議会定例会（6 月 12 日）	
4. 三春町民生児童委員協議会 6 月全員協議会（6 月 19 日）	
5. 会津若松市民生児童委員協議会研修会（7 月 15 日）	
6. 川内村民生委員協議会定例会（8 月 19 日）	
7. 双葉町民生児童委員協議会定例会（8 月 27 日）	
8. 檜葉町民生児童委員協議会定例会（8 月 28 日）	
9. 西郷村民生児童委員協議会研修会（9 月 17 日）	
10. 国見町・桑折町民生児童委員合同研修会（10 月 20 日）	
11. 福島市民生児童委員協議会生活援護部第 2 回研修会（11 月 12 日）	
12. いわき市民生児童委員協議会中堅民生委員児童委員研修会（2 月 20 日）	
13. いわき市民生児童委員協議会新任民生委員児童委員研修会（3 月 19 日）	

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①適正な法人運営	
ア) 理事会・評議員会・監事会機能の充実	
理事会（5回） 評議員会（4回） 監事会（2回）	
1. 理事会	
【第1回】	期日：5月26日 内容：25年度事業報告、25年度一般会計収支決算報告、25年度特別会計収支決算報告、諸規程の一部改正、副会長の選任、評議員の委嘱の同意
【第2回】	期日：9月29日 内容：事業中間報告、全国ボランティアフェスティバルふくしまについて、26年度一般会計第1次補正予算案、26年度特別会計第1次補正予算案、評議員の委嘱の同意
【第3回】	期日：12月24日 内容：生活福祉資金滞納督促状の剥離事故に関して、事業中間報告、26年度一般会計第2次補正予算案、26年度特別会計第2次補正予算案、定款の一部改正
【第4回（書面審議）】	期日：1月29日 内容：新規事業の追加について
【第5回（書面審議）】	期日：2月13日 内容：26年度一般会計第3次補正予算案、契約について
【第6回】	期日：3月26日 内容：26年度一般会計第4次補正予算案、26年度特別会計第4次補正予算案、27年度事業計画案、27年度一般会計当初予算案、27年度特別会計当初予算案、契約について、定款の一部改正、諸規程の一部改正、評議員の委嘱の同意
2. 評議員会	
【第1回】	期日：5月26日 内容：事業報告、25年度一般会計収支決算報告、25年度特別会計収支決算報告、理事の選任、監事の選任
【第2回】	期日：9月29日 内容：事業中間報告、全国ボランティアフェスティバルふくしまについて、26年度一般会計第1次補正予算案、26年度特別会計第1次補正予算案、理事の選任
【第3回】	期日：12月24日 内容：生活福祉資金滞納督促状の剥離事故に関して、事業中間報告、一般会計収入支出補正予算、特別会計収入支出補正予算、定款の変更
【第4回（書面審議）】	期日：2月13日 内容：26年度一般会計第3次補正予算案
【第5回】	期日：3月26日 内容：26年度一般会計第4次補正予算案、26年度特別会計第4次補正予算案、27年度事業計画案、27年度一般会計当初予算案、27年度特別会計当初予算案、定款の一部改正、諸規程の一部改正、理事の選任
3. 監事による監査	
【第1回】	期日：5月16日 内容：理事の業務執行の状況、法人の財産の状況

【第2回】 期日：12月15日

内容：事業中間報告、26年度一般会計及び特別会計補正予算案

イ) 専門機関との連携（随時 通年）

適正な法人運営のため、社会保険労務士や公認会計士等との連携。

ウ) 福島県総合社会福祉センターの運営

センター入居団体連絡会議の開催

福島県総合社会福祉センター入居団体連絡会議及び自衛消防会議の開催（4月24日）

防災訓練の実施

期日：11月28日

内容：避難訓練、AED講習

防犯対策の強化

センター敷地内への防犯カメラ設置について検討

②個人情報保護・苦情解決体制

ア) 職員への啓発

個人情報保護に関する方針の徹底及び「個人情報取扱業務概要説明書」の見直し、作成

「個人情報取扱業務概要説明書」の改正（7月）

③会員制度

ア) 一般会員の加入促進

未加入施設・事業所への積極的な加入促進（随時）

平成26年度新規会員施設・事業所：17ヵ所

イ) 特別賛助会員の加入促進

未加入企業への積極的な加入促進（随時）

平成26年度新規会員：3ヵ所

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①安定的な財政基盤の確立	
ア) 補助金・受託金の確保	
27年度必要な補助金・受託金確保のための予算要望活動（1回 9月）	
平成27年度予算編成に対する県保健福祉部等への要望活動（再掲）	
【第1回】9月10日（提出先：県保健福祉部長）	
【第2回】11月5日（提出先：県保健福祉部長、県総務部長）	
イ) 自主財源の確保	
斡旋・紹介手数料等の増収（随時）	
自動車リース新規契約：16台	
ウ) 民間資金の活用	
赤い羽根共同募金を財源とした事業展開（4月～3月）	
はあとふるふくしま発行事業（共同募金配分金 7,770千円）	
第18回ボランティアフェスティバル開催事業（同 1,360千円）	
市民後見人養成事業及び権利擁護セミナー開催事業（同 820千円）	
福祉・介護の仕事ガイドブックの作成（同 1,200千円）	
エ) 事務費コストの削減	
経費節減を念頭においた業務執行	
財政検討会にてコスト削減について検討	
オ) 財政検討会の設置	
本会財政の適正かつ永続的安定に向けた検討	
前年度に引き続き、財政検討会を設置、開催。	
【第1回】11月12日	

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事業報告	
①事務局体制の充実強化	
ア) 事務局組織・分掌事務の検証 「将来構想委員会」における組織検討	
「災害対応指針」の作成 災害対応指針策定の前段として、職員の緊急連絡網の見直しを実施した。	
衛生委員会の開催	
4月23日 「平成26年度活動計画（案）について」 5月15日 「職場におけるメンタルヘルスについて」 6月4日 「夏季に向けた職場環境の改善」 7月2日 「職員研修会について」 8月6日 「喫煙と健康管理について」 9月3日 「職員雇入れ時の安全衛生教育について」 10月1日 「メンタルヘルスについて」 11月5日 「冬季に向けた職場環境の改善」 12月日 「健康管理に関する職員アンケート（案）について」 1月7日 「健康管理に関する職員アンケートの結果について」 2月4日 講演「健康診断結果の見方」 3月4日 産業医への個別相談会	
イ) 職員の資質向上	
全体研修計画に基づいた個人研修の実施（随時） 社会福祉士通信課程の受講：1名 社会福祉協議会会計実務講座通信課程（初級）の受講：2名	
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容	
全国・ブロック会議・研修会等への参加【追加】 1. 都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長セミナー（7月17～18日 神奈川県） 2. 北海道・東北ブロック社協・共募事務局長合同会議（8月21～22日 宮城県） 3. 都道府県・指定都市社協総務担当部・課長会議（9月24～25日 東京都） 4. 北海道・東北ブロック総務部・課長会議（12月3～4日 山形県） 5. 都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長会議（1月30日 東京都）	
平成27年度正規職員採用試験の実施	
【第1次試験】8月22日 内容：書類選考 【第2次試験】10月19日 内容：一般教養試験、小論文 【第3次試験】11月16日 内容：集団面接、個人面接	